

平成 21 年度文部科学省

「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラム選定



平成21年度～22年度

学生個人を大切にしたキャリアメンターによる就活基礎力養成

—最終報告書—

京都光華女子大学

目 次

1.	取組の概要	3
1.1	概要	3
1.2	取組の内容	3
1.3	取組で得られる具体的な成果	4
2.	取組の実施内容	6
2.1	助言体制（キャリア相談室）の整備	6
(1)	平成 21 年度卒業学年生に対する緊急支援（平成 22 年 2～3 月）	6
(2)	キャリアメンターによる学生相談対応（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）	8
2.2	就活基礎力養成支援	11
(1)	ミニセミナーの実施・キャリアフォーラムの同行指導	11
(2)	ゼミへの出張講座	12
(3)	社会人基礎力養成講座（正課外講座）	18
(4)	西日本合同研究会（西日本インカレ）出場	19
(5)	社会人基礎力養成合宿	20
2.3	就活基礎力診断とフォロー	24
(1)	診断テストについて	24
(2)	就活基礎力の診断項目と結果	25
(3)	フォローガイダンス	26
2.4	企業情報の収集・調査	28
2.5	支援環境	29
(1)	e ラーニングコースの提供	29
(2)	面談予約システム	30
(3)	学生面談システム	31
2.6	外部講師による学内学習会	32
2.7	評価（就職支援連絡会）	33
2.8	広報	34
3.	成果とまとめ	35
3.1	就活基礎力養成に関する成果物	35
(1)	自己診断シート	35
(2)	相談対応事例集	37
(3)	業種別就職状況	37
3.2	まとめ	38
資料 1	面談予約システム運用開始通知	41
資料 2	就職支援推進プログラム事例集	42
資料 3	学生／就職支援推進プログラム意見交換会	46
資料 4	京都光華女子大学におけるキャリア教育・キャリア形成支援リーフレット	51
資料 5	京都光華女子短期大学部におけるキャリア教育・キャリア形成支援リーフレット	53

1. 取組の概要

1.1 概要

本学では、就職満足度 100%を目指した各種支援を行っている。学生キャリア支援センターには専門職員が常駐し、就職相談に対応している。支援内容は就職活動に関する一般的な用語についての質問から精神的支援、個別の面談指導など本学特有の就職指導まで多岐に渡っており、満足度は高い。就職活動を迎えた学生には進路登録カードの提出を促し、希望にそった就職支援を行っているが、提出率は就職活動開始時点で 65%（平成 21 年度）であった。

本取組では「進路が考えられない」「就職相談する基礎力が不足している」学生に対して、学生個人を大切にしたいきめ細かな助言体制を整備するためにキャリアメンターを導入し、就職活動に必要な基礎能力（就活基礎力）の養成を行った。就職支援態勢を強化する事で、より多くの学生が進路に対する意思の明確化ができるようになり、同センターへの進路登録が増え、相談件数が増加（目標 20%）することで就職好調期の就職率 90%（平成 20 年度は 83%）を目指した。

1.2 取組の内容

就職支援体制の一層の充実・強化を目指した取組の内容は以下のとおりであった。

- ① 全体的な実施体制の立ち上げにおいては、学長の指揮のもと、取組担当者を代表とする「キャリア相談室」が取組の全体管理を行った。相談室を中心として、各関係部署・学科等に連絡担当者（連絡会委員）を置いた（図 1）。連絡会で担当事項の伝達・確認と状況報告・情報共有を行い、取組の円滑な推進を図った。合わせて取組の P D C A を徹底した。
- ② 就職活動の方法がわからない準備不足の 3 年生に対して、就職活動に必要な基礎力養成を実施するために、キャリアメンターを配置した。従来本学と付き合いのない企業や団体からの外部情報で刺激する効果を目的に、キャリアメンターは企業や団体、他大学の情報を有する就職支援関連業務の経験者に依頼した。
- ③ 「キャリア相談室」の機能（サービス）について利用者（学生）へ説明・周知した。キャリア相談室は、学生が、学生キャリア支援センターに行くきっかけを与えるために、ゼミ担当者と連携して、ゼミなどに出向いて就職活動に関する説明を行った。進路登録カードの提出されていない 3, 4 年生に対しては、進路登録カードの作成支援を行った。また、進路登録カードは提出したが同センターに相談にこない学生に対して、個別支援を実施することで、同センターに相談するきっかけをつくった。個別支援で連絡が取れない学生に対しては、ゼミ担当者に協力を依頼し、現状を把握した。
- ④ キャリアメンターと学生の相談場所およびゼミ担当者からの連絡場所として「キャリア相談室」を開設した。
- ⑤ キャリアメンターの指導内容については、既に運用を開始している学生面談システムに随時登録し、その情報を同センターやゼミ担当者の支援に活用した。支援する上で必要となった機能について、学

生面談システムの強化を行った。

- ⑥ 学生キャリア支援センターが実施する就職ガイダンスに参加しない学生に対して参加を促し、進路登録カード提出の支援を行った。進路の明確化ができず、登録カードの作成ができない学生に対して、作成支援を行うことで、就職活動に必要な基礎力養成を行った。
- ⑦ 就職活動に必要な基礎知識を学習するための講座やeラーニング教材を紹介・周知し活用を促進した。
- ⑧ 就職活動に必要な基礎力の診断（職業適性検査）を実施した。また、検査結果を就職活動に有効活用する為にフォローガイダンスを行った。
- ⑨ 本学卒業生の就職先や学生が希望する就職先の情報収集・調査を行い、就活基礎力育成について検討した。
- ⑩ 隔月で就職支援連絡会を開催した。進路登録カードの提出率や就職相談状況を共有し、随時、本取組の実施内容について評価を行い、実施内容にフィードバックさせた。その評価と改善へのフィードバック内容はその都度、「キャリア相談室」へ集約し、取組全体のPDCへ反映させた。またこれらの評価を総合する形で、本プログラム終了後の継続的な取組へ反映させた。
- ⑪ 本事業の成果の最終報告として、実施結果とその評価を報告書にまとめた。

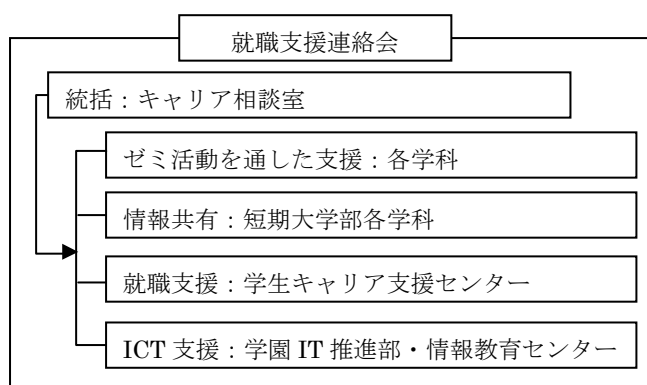


図1 実施体制

1.3 取組で得られる具体的な成果

本取組を実施することにより得られる具体的な成果は、以下のとおりと考えた。

- ① 本取組の実施体制を整えることにより、取組全体が目的とする就職支援体制強化が可能となり、「就職支援連絡会」を通して、各関係部署・学科等で学生の就職活動状況の共有を図ることができる。これにより、全学での就職支援に対する取組を大きく前進させることができる。
- ② 学外のキャリアメンターを登用することで、従来本学と付き合いのない企業や団体の情報が新たな刺激となり、今後の就職活動の場を広げる事が期待出来る。
- ③ オリエンテーション等で学生に「キャリア相談室」を紹介することで、就職活動に対する学生の意識を活性化し、今後の就職活動への取り組み意識が高まる。

- ④ 「キャリア相談室」を開設することにより、「進路を具体的に考えられない」あるいは「就職相談する基礎力が不足している」学生の相談場所ができることで、進路の明確化に関する個別支援を行うことができる。その結果、就職に対する学生の意識の水準を高める支援を実現できる。
- ⑤ キャリアメンターから個別アプローチし、ゼミ担当者と連携して就職活動に必要な基礎力養成を行うことで、学生個人を大切にした指導を実現でき、指導内容を学生面談システムに登録し、指導内容について教職員が相互参照することで支援効果が高められる。効果の高い事例については、支援内容の蓄積データを分析し、今後の就職活動支援の方法確立に役立てる事ができる。
- ⑥ 就職ガイダンスに参加しない学生に個別参加を促し、大学全体の就職活動を活発化することで、取組が目指す就職活動に必要な基礎能力の養成と相談件数の向上を支援する。
- ⑦ 就職活動に必要な基礎知識を学習するための講座やeラーニング教材を活用することで、就職活動支援を効果的に進め、その支援効果を高める。
- ⑧ 就職適性検査で就職活動に対する心構えや準備度を客観的に評価することで、フォローが必要な学生を把握することができる。
- ⑨ 本学卒業生の就職先や就職希望先の情報収集・調査を行うことで、企業が求める人材を分析し、学生指導に役立てることができる。
- ⑩ 隔月に就職支援連絡会を開催することで就職活動の現状を共有し、社会が求める就活基礎力に対応し、取組の成果について、評価を定期的に丹念に行うことにより、取組の効果的な実施へ向けてのPDCを徹底し、その効果を上げることができる。
- ⑪ 実施結果とその評価を報告書にまとめることにより、平成23年度以降の支援法を確立できる。合わせて、他学への参考とすることができる。

2. 取組の実施内容

2.1 助言体制（キャリア相談室）の整備

これまで進路に関する相談は、ゼミ担当教員または学生キャリア支援センターで行ってきた。就職することを希望した場合は、学生キャリア支援センターが主となり相談対応を行い「就職支援」として企業の紹介やビジネスマナー教育などを行ってきた。しかし、自分の進路希望を明確にできない学生の増加に伴い、本来の役割である「具体的な就職支援」以前の指導の必要性がでてきた。就職活動に必要な基礎力を「就活基礎力」と名付け、その助言体制を整備するために、平成 22 年 2 月「キャリア相談室」を開設し、以下の助言体制（図 2）の強化を行った。

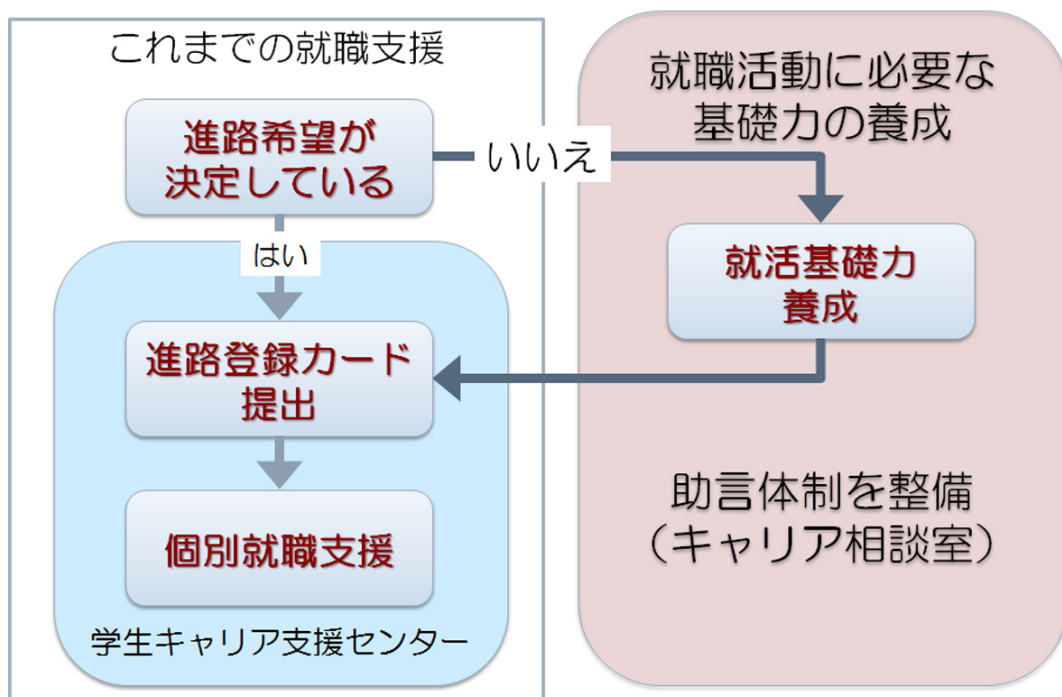


図 2 進路に関する相談体制

(1) 平成 21 年度卒業学年生に対する緊急支援（平成 22 年 2～3 月）

就職活動継続中の 4 年生に対して、緊急支援を実施した。実施項目は以下の 2 項目であった。

① 合同企業フォーラム同行指導

関西地区在住の学生に対しては、4 年生を対象にした合同企業フォーラム等の案内（図 3）を本学学生ポータルサイトの光華 navi（図 4）で案内し、フォーラム会場での



図 3 合同企業フォーラム案内

同行指導を行った。

卒業間際に合同企業フォーラムに参加する学生は、これまで進学や公務員を専願していた学生がほとんどで、合同企業フォーラムに対する知識と行動力が不足がちであった。そのため、希望する学生には同行指導を実施する事とし、会場控室でのフォローを行った。

表 1 卒業予定者フォーラム同行指導一覧（緊急支援）

日 程	名 称	参加人数
平成22年 2月24日(水)	企業フォーラム大阪	5名
平成22年 3月 2日(火)	企業フォーラム神戸	3名
平成22年 3月 8日(月)	ワークフェア	3名

合同企業フォーラムで説明を受けた企業へ直接就職が決まるといった結果を出すことはなかったが、「その後の就職活動につながり、4月までに就職が決まった」という成果につながった。

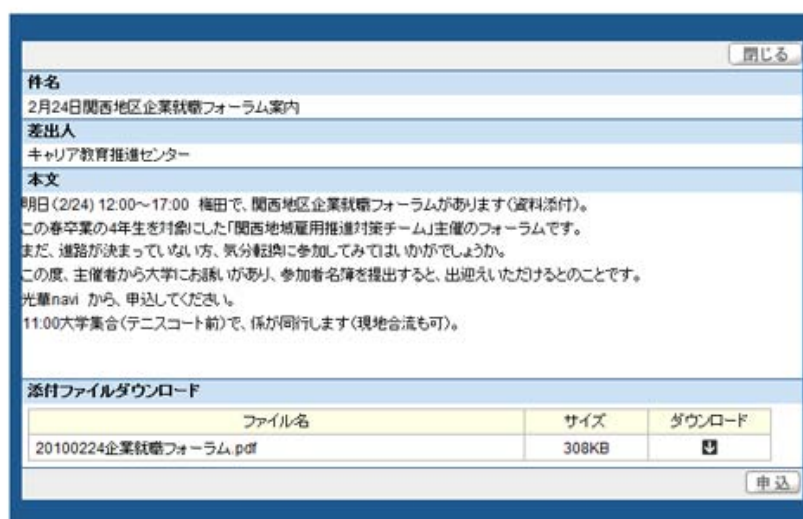


図 4 光華 navi での案内画面

② 電話での相談支援

ゼミ担当教員と協力し、既に帰省している学生など 33 名に対して、電話による相談対応を実施した。実施項目としては、現状の確認と卒業後の活動方法についてのアドバイスをを行った。

(2) キャリアメンターによる学生相談対応

(平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)

進路に関して気楽に相談できる場所として「キャリア相談室」を継続した。学生が各所で相談できるように、学生キャリア支援センターとは別の場所とし、さらに昼休みは、学生が集まる場所「ピアひろば」にキャリア相談コーナー（図 5）を開設し、専門知識を有したキャリアメンターが相談対応を行った。



図 5 ピアひろば・キャリア相談コーナー

キャリアメンターによる学生相談対応は、その目的から以下の 3 種類に分けられる。

① 個別相談（随時実施）

学生自らが、自分が抱えている課題を解決するために、自主的にキャリア相談室に面談を申し入れる。学生の利便性と面談受付の効率化のために、面談予約システムを導入した。

② 4 年生全員面談（平成 22 年 11 月～平成 23 年 2 月）

進路決定の報告がされていない 4 年生に対して、以下の目的・手順で全員面談を実施した。面談は、最初に簡単なアンケートに回答させ、その回答をもとに進路状況の確認をする形で行った。進路が明確な学生に対しては、学生キャリア支援センターで具体的な求人状況を確認するよう指導し、進路が不明確な学生には、家族と話し合い次回までに進路を決めるようアドバイスして再度の面談を促した。面接試験がネックとなっている学生には、面接ミニセミナーにより対策講座を実施した。

以下、4 年生全員面談の目的と手順について報告する。

目 的

- 1) 進路状況の把握
- 2) 就職活動を精神的に支援する
- 3) 就職活動でネックとなっている点を整理し改善する

手 順

- 1) ゼミ教員に進路状況の把握を確認
- 2) 学生の時間割を考慮した面談スケジュールを設定（図 6）
- 3) ゼミ教員を通して面談予定を学生に周知

- 4) 学生ポータルサイトの光華 navi で通知
- 5) 前日、面談予定者にキャリアメンターからリマインダメールを送信
- 6) 欠席した学生には再度面談予約を促すか、あるいは電話で面談

キャリアメンターからアプローチを3回行って、連絡が取れない学生に対しては、ゼミ教員にフィードバックしてフォローを依頼した（図7）。

個人面談予定表		場所: 4号館226研究室 又は 221教室													
		面談は、学生とキャリアアドバイザーが1対1で実施します。先生のお名前は参考に掲載しています。													
		都合が悪い場合は、友人と交代してください。それでも調整ができない場合は、学務部キャリアアドバイザーまでご連絡ください。日時変更連絡: キャリアアドバイザー (career)													
No.	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 11月4日 木	9:05~9:20			079020	079011			079014	079027	079021			079003	079009	079010
2 11月5日 金	9:25~9:40			079028	079027	079013	079024	079029	079020	079002			079003	079009	079010
3 11月6日 土	9:45~10:00		079014	079028	079042	079008		079002	079011	079020			079045	079047	079010
4 11月9日 火	10:05~10:20		079010	079028	079008	079042	079008	079017	079020	079028			079045	079047	079010
5 11月10日 水	10:25~10:40	079020	079028	079044	079008	079013					079003	079008	079045	079047	079010
6 11月11日 木	10:45~11:00												079045	079047	079010
7 11月12日 金	11:05~11:20												079045	079047	079010
8 11月13日 土	11:25~11:40												079045	079047	079010
9 11月16日 火	11:45~12:00	079017	079020	079020		079003	079008	079042	079017	079020			079045	079047	079010
10 11月17日 水	12:05~12:20	079024	079020	079027	079003	079008	079013	079020			079003	079008	079045	079047	079010
11 11月18日 木	12:25~12:40	079024	079020	079027	079003	079008	079013	079020			079003	079008	079045	079047	079010
12 11月19日 金	12:45~13:00												079045	079047	079010
13 11月22日 月	13:05~13:20												079045	079047	079010
14 11月24日 水	13:25~13:40	079020	079028	079044	079008	079013	079008	079017	079020	079028			079045	079047	079010
15 11月25日 木	13:45~14:00	079020	079028	079044	079008	079013	079008	079017	079020	079028			079045	079047	079010
16 11月26日 金	14:05~14:20	079020	079028	079044	079008	079013	079008	079017	079020	079028			079045	079047	079010
17 11月29日 月	14:25~14:40	079020	079028	079044	079008	079013	079008	079017	079020	079028			079045	079047	079010
18 11月30日 火	14:45~15:00	079020	079028	079044	079008	079013	079008	079017	079020	079028			079045	079047	079010

図6 個人面談予定表

平成22年11月24日
キャリア教育推進センター

個人面談欠席者のお知らせ

下記の学生番号の方が、個人面談を欠席されたのでお知らせ致します。
尚、再度日程調整して面談をさせて頂く予定をしております。

11月4日～11月9日

079010
079011
079012

以上

図7 個人面談欠席者フォロー依頼文

③ 就職活動準備度診断結果をもとにした3年生面談（平成23年1月～平成23年3月）

10月に3年生に実施した就職活動準備度診断テスト（キャリアアプローチ）の結果をもとに、目標設定が不十分な学生を対象に進路の明確化を支援する目的で個人面談を強化した。4年生全員面談と同様に、予め面談スケジュールを設定し学生に周知し、面談予定日前日にキャリアメンターからリマインダメールを送信し、面談実施を促した。

上記のキャリアメンターによる学生相談件数は、以下の通りであった。

表2 キャリアメンターによる学生相談件数

学生相談期間	4年生	3年生以下
卒業生に対する緊急支援 平成22年2月20日～平成22年3月末	38名	—
在学生を対象とした支援 平成22年4月1日～平成23年3月末	152名 223回	313名 413回

キャリアメンターが対応した相談履歴は、面談直後に学生面談システムに登録し学生状況を教職員が情報共有できるようにした（図8）。面談記録には、面談日・対応者・相談内容・対応内容と必要に応じ、引き継ぎ事項などの登録を行った。この結果、学生はゼミ担当教員や学生キャリア支援センターに相談に行っても、シームレスな対応によりそれぞれの立場から支援することができた。

図8 面談記録画面

2.2 就活基礎力養成支援

助言体制として「キャリア相談室」を開設するとともに、学生が相談するきっかけ（進路について明確にするきっかけ）として、3年生を中心に就職活動を実施する基礎力を養成するために各種の取り組みを実施した。

- ・ミニセミナーやキャリアフォーラム（図9）への同行指導
- ・ゼミへの出張講座
- ・社会人基礎力養成講座（正課外講座）
- ・西日本合同研究会（西日本インカレ）出場
- ・社会人基礎力養成合宿

以下、その取り組みについて報告する。



図9 キャリアフォーラム案内

(1) ミニセミナーの実施・キャリアフォーラムの同行指導

学生がキャリア相談室に来るきっかけをつくるために、前期早々にミニセミナーを開催した。後期は、主にフォローアップセミナーを中心に指導を行った。

表3 ミニセミナー・キャリアフォーラムの同行指導一覧

日程・実施回数	セミナータイトル	参加人数
平成22年4月9日, 16日 計3回	インターンシップに向けた 気になる業界・職種セミナー	63名
平成22年4月20日, 21日 計2回	キャリアフォーラム大阪 同行指導	4名
平成22年11月10~12日 計5回	就活基礎力準備度診断（キャリアアプローチ） フォローセミナー	153名
平成22年11月19日 計1回	キャリアアプローチ結果を活用する実践講座	46名
平成23年2月20日~3月10日 要望に応じ	面接対策セミナー	17名
平成23年2月20日~3月10日 要望に応じ	マナー講座	7名

(2) ゼミへの出張講座

キャリア相談室が独自に実施するセミナーの他、学生に進路について考えるきっかけを与える施策として、各学科の教員と協力して基礎ゼミ・専門ゼミへの「出張講座」を実施した。事前に対象学年と要望事項を申込票により確認し、ゼミを訪問し講座を行った。ゼミへの出張講座では、受講後にアンケートを実施し、実施報告書と質問回答票をゼミ担当教員にフィードバックした（図10）。

[illegible]

図 10 出張講座申込票・実施報告・アンケート Q&A

以下に、出張講座の対象学年とテーマ、アンケートについて報告する。テーマについては、「学生に不足していると考える力」をゼミ教員から聞くことで、講座内容を検討して実施した。

表 4 キャリアメンターによる出張講座一覧

対象	日 付	出張講座のテーマ	参加人数
4 年生	4 月 14 日	就活がうまく進まない現状についての座談会	6 ゼミ 39 名
	5 月 12 日	求人の探し方など、就活の進め方について	
	6 月 3 日	自己 PR の仕方など、個々の就活への助言	
	6 月 11 日	就活へのモチベーションアップ、相談に行けるつながり作り	
	7 月 7 日	まだ内定を得ていない場合の今後の取り組み方について	
	7 月 8 日	内定を取れていない現状への対応について	
3 年生	6 月 11 日	就活に向けての心構え、準備の仕方	15 ゼミ 119 名
	6 月 17 日	現在の就活について、具体的な流れの説明	
	6 月 23 日	就活に向けて特に夏休みに準備できることについて (2 ゼミで実施)	
	7 月 22 日	就活について、今やっておくべきことなど	
	10 月 4 日	就活の進め方	
	10 月 6 日	就活の進め方、就労意欲喚起	
	10 月 7 日	就活の具体的スケジュールについて	
	10 月 13 日	就活の心構え、ポイント、卒業生の就職先について	
	10 月 14 日	就活の流れについて。業種、職種	
	10 月 15 日	就活の流れについて (2 ゼミで実施)	
	10 月 18 日	就活の流れについて	
	10 月 20 日	就活の実態・傾向	
	11 月 1 日	言葉に出して伝えてみよう	
2 年生	7 月 22 日	就活についての質問、基本的なガイダンス	4 ゼミ 66 名
	10 月 7 日	どんな職業があるのか、2 年生の今何をしておくべきか	
	10 月 8 日	2 年生の今何をしておくべきか、就活に関する質問受付	
	10 月 22 日	業種、職種について、就きたい仕事の探し方	
1 年生	6 月 29 日	働くことの意義、卒業後の自分の将来像の見出し方	9 ゼミ (6 回) 112 名
	7 月 6 日	働くことの意義、卒業後の自分の将来像の見出し方	
	7 月 13 日	働くことの意義、卒業後の自分の将来像の見出し方	
	10 月 18 日	どんな仕事がしたい？	
	10 月 25 日	学生時代に力を入れたこと	
	12 月 17 日	社会人になるにあたって、コミュニケーションの大切さ	

① 4年生 6ゼミ 39名のアンケート

1. 就職活動自体について

- 説明会の予約が全然取れない。結局あきらめてしまう。
- エントリーシートで落とされてしまい、面接にいけない。
- 就活全般、どこから手をつけたらいいかわからない。
- グループディスカッションが選考に入っている企業があるが、やったことがないので不安。
- 面接でうまくしゃべれない。
- 現実逃避で結局行動に移せずにいることが多い。
- 本当にこの会社でいいのか、この仕事でいいのか、といつも迷う。
- 面接で見栄をはってしまう、うまく自分が出せない。
- Uターン就職希望だが、求人も少なく、行き来も大変で行き詰っている。

2. 自己分析について

- 志望動機が書けない(複数回答)。
- 自分の強みがどこかなどわからない。
- 自己PRの書き方がわからない(複数回答)。
- 自己PRが書けないので就活をしていない。
- やりたいことや受けたい企業がないので、就活が進みにくい。

3. 現在の心境など

- 自分が内定をもらえるのか、本当に仕事が見つかるのか、不安。
- どうしてもやりたい仕事があり、他には目を向けられない。
- 何がしたいかわからないので、業界も職種も決められない。
- 就活に疲れてしまってやる気がでない(複数回答)。
- 就活に対する悩みは皆同じだなと思った、少しほっとした(複数回答)。
- 行き詰っていることが多く、座談会で皆と話すときスッキリした。
- やりたいと思うことはたくさんあり、そのためにどうしたらいいかわからない。
- ゼミの仲間同士でも、どんなことをしていて何を考えているのか、これまで知らなかった。
- 周りも同じように悩んでいることを知って、自分もまたがんばろうと思えた。
- 大学院進学を決めているが、その後は就職しないといけないので、不安である。
- 周りで決まったという人がいると焦ってしまい、やる気がなくなっていた。
- 正直、もうフリーターでもいいかなと思っている。
- モチベーションはずっとさがっていてやる気がでない。

4. 要望、希望

- もっと早い時期にこういった場があればよかった。
- 気軽に相談できる場所が欲しい。
- 愚痴になるかもしれないが、話を聞いて欲しい。

② 3年生 5ゼミ 38名のアンケート

1. 進路について ● 教師になりたいと決めているので就職には興味なし。 ● 将来のことや就職のことを考える機会がこれまであまりなかった。 2. 自分自身について ● 自分にはPRできるところがないのでどうしたらいいかわからない。 ● 自分が何の仕事をしたいのか、わからない。 ● 今なにをすべきなのかわからない(複数回答)。 ● まだ将来のことは決めていない。 ● 自己PRは苦手。自己分析できないので困ってしまう。 ● 最近、卒業後の自分について本当に不安がいっぱい。 ● 自分のやりたいことに、自分の能力が追いついていない。 3. 就職活動について ● 就職活動の流れについてこれまで知らなかった。 ● インターンシップの重要性がいまいちつかめない。 ● なんとなく就活もしなくてはいけないことはわかるが何をするのかわからない。 ● 就活のことなど、皆知っているんだろうと思い、聞くのが恥ずかしい。 ● 周りの皆も自分と同じような感じだとわかってほっとした。 ● 就活というと重苦しいイメージで嫌だ(複数回答)。 ● インターンシップに行って、実際の会社を見てみたい。 ● 自分が実際に就職活動をするのだという実感がわからない。 ● 「就活」って実際何をするのか、よくわかっていない(複数回答)。 ● 話を聞くと、がんばろうという意欲が高まる。 4. 疑問、要望 ● 自己PRの例などを見せてほしい。 ● 大学院へ進学した場合のその後の進路について知りたい。 ● 友達同士で情報交換したい。 ● 先輩の就職率や就職先が気になる。 ● 大学の専攻とやりたい仕事は関連性がないが、それでもいいのだろうか？ ● アルバイトの経験がないと就職に不利と聞いたことがあるが実際はどうなのか？
--

③ 2年生 1ゼミ 15名のアンケート

1. 進路、就職について ● 就活は怖いというイメージがある。 ● 就職について知らないことが多い ● まだ就職について考えたことがあまりない。 ● 卒業後に専門学校に行こうか迷っている。

- 就活について、具体的に知りたいことがいろいろある（スーツの色や、デザイン）。
- 自分が就職できるのだろうかと不安。
- 大学院に進学するか悩んでいる。
- 教職に就きたい。

2. 自分自身について、今の大学生活について

- 自分を知ることは難しい。
- どうやったら自分らしさを見つけることができるのかわからない。
- まだ2年生なので大丈夫かなと思っている。
- 今のうちに大学生活を楽しみたい。
- これまで何事に対してもあまり積極的に行動をしていなかった。
- 企業が求める能力を自分が持っていると思えない。
- 夏休みなどは無駄に過ごしていることが多い。

3. 疑問・要望など

- アルバイトは就職や自分自身にとってプラスなのか(有利になるのか)？
- 公務員試験についての情報が知りたい。
- 自分にあった仕事についてアドバイスが欲しい。
- 先輩達の就職に関する情報が知りたい。

④ 1年生 6ゼミ 62名のアンケート

1. 卒業後の進路について

- 将来どのような職業につきたいか、改めて考えることはあまりない。
- 将来の夢など、私はない。
- 子供の時からやりたいことがあって、それに向かっている途中なので、今一番人生で充実していると感じる。
- 大学に入って、なんとかやっているという状態で、将来仕事に就く、という意識はまだ薄い。
- 卒業後は就職しなければならない、と思うので、焦っているが、やりたいことは見つからない。
- 自分に合った仕事、好きな仕事で、社会に役立てる仕事を見つけない。
- 何事も早目に考えておくことが大事だと思う。
- 一番いいのは、自分が好きなことをやってそれを仕事にできたらと思うけど、難しそう。
- 将来を考えるのは楽しい。夢を追いかけるのが人生だと思う。

2. 仕事(就職について)

- 世の中にはたくさんの職業があるのだなあと思った。
- 英語を活かした仕事に就きたい(文学科)。
- 自分達が就職活動するころの就職率が気になる。
- 現在の、不況などといわれている状況が不安にさせる。

- 働くことの大切さと、そのために勉強することが大事だとも思った。

3. 疑問・要望など

- 日々の生活がとにかく忙しい。
- いろんなことにチャレンジし、自分が何ができるのか、を理解していきたい。
- 大学生活の中でやりたいことがたくさんあり、しなければならないこともたくさんあるので、整理がついていない。
- 大学には、やりたいことを見つけに来た。
- 頭で思っているより、プランを書き出してみ、実行に移す、というのはいいと思った。
- 目標があっても、そこに到達する道のりがわからない。
- 資格取得など、1年生のうちから始めていったほうがよいと思う。
- どんなアルバイトをするのがいいのか迷っている。
- 時間のある今のうちにいろいろなことに挑戦しようと思う。

4. 大学、授業などへの意見、要望

- 授業やセミナー(キャリアについて) などがあると、進路について意識するきっかけになる。
- 楽しく考えられるような授業がいい。
- 実際の就職活動で企業が質問してくる事柄など、具体的な話をもっと聞きたい。
- 自分の将来について考える機会を時々授業などで与えてほしい。
- 就職が難しいといわれているが、助けてほしい。
- 今やらなければならないことなどを自覚させてくれる、刺激になる授業が聞きたい。
- いろんな情報がほしい。自分一人では知らないこと、わからないことが多い。
- 1年生でも就職情報をもっと知れたらいい。
- 皆で一緒に考える授業をしたい。

また、出張講座では、キャリアメンターから提案する形で以下タイトルのセミナーラインナップも提示した。

表 5 出張講座ラインナップ

カテゴリー	タイトル
自分について考える	① 自分の強み(弱み)を知ろう
	② 学生時代に力を入れた事
	③ 自分史を書いてみよう
社会について考える	④ 業種、職種って何?…世の中の会社と仕事について知ろう
	⑤ どんな仕事をしたい? どんな会社で働きたい?
伝える 質問する 理解する	⑥ 言葉に出して伝えてみよう!…自分のことを話す・伝える
	⑦ 話し合いをしてみよう!…グループの中で自分の意見を言う、他人の意見を聞く

(3) 社会人基礎力養成講座（正課外講座）

社会人基礎力養成講座としては、Ⅰ～Ⅲの3講座4クラスを開講した。その講義内容と実施日・実施時間は以下の通りであった。その申込状況と初回出席率は以下の通りであった。この講座は正課外講座であり、実施時間が5講時（最終時間）であることも原因と考えられるが、回数を追って参加者が減少した。このことは、今後の講義内容を検討する課題となった。

表 6 社会人基礎力養成講座の実施内容

	講義科目	内 容	日程	時間
社会人基礎力養成講座Ⅰ	コミュニケーション能力	知る①（スキル・促進）・知る②（情報整理）	5/14	5講時
		伝える①（伝える・表現力）・伝える②（レジュメ・図表）	5/21	
		伝える③（TP0・ネット情報）・伝える④（情報手段・報連相）	6/4	
		共に働く①（協調・人間関係）・共に働く②（ルール理解）	6/11	
	読み書き	ビジネス文書の基礎知識①②	6/18	
		慣用表現をマスターしましょう①②	7/2	
		定型的な文書を作成しましょう①②	7/9	
		文章を正しく理解しましょう①②	7/23	
社会人基礎力養成講座Ⅱ	社会人常識	人文科学①（日本史）・人文科学②（思想・文芸）	10/1	5講時
		社会科学①（政治思想とシステム）・社会科学②（日本国憲法）	10/2	
		社会科学③④（経済の流れと社会①②）	12/3	
		時事①②（政治・経済・社会・科学・文化・スポーツ）	12/1	
	計算	四則計算①②（給与計算）（旅費・交通費）（会社の利益）	1/7	
		数学的・論理的思考①②（仕事を早く片付ける方法①②）	1/14	
		数学的・論理的思考③④（売り上げを伸ばす方法①②）	1/21	
		計数・資料解釈①②（資料を読み取る方法を考えよう①②）	1/28	
社会人基礎力養成講座Ⅲ	ビジネスマナー	挨拶と話し方①	5/19	4講時または5講時
		挨拶と話し方②	5/26	
		電話・通信の方法①	6/2	
		電話・通信の方法②	6/9	
		訪問の方法①	6/16	
		訪問の方法②	6/23	
		来客の対応①	6/30	
		来客の対応②	7/7	
		上手に聴く・効果的に話す①	7/14	
		上手に聴く・効果的に話す②	7/21	

それぞれの申込みと初回出席状況は以下の通りである。

表 7 社会人基礎力養成講座の初回出席状況

講 座	実施時期	申込人数	初回出席	出席率
社会人基礎力養成講座Ⅰ (コミュニケーション能力・読み書き)	前期 5 講時	31 名	21 名	68%
社会人基礎力養成講座Ⅱ (社会人常識・計算)	後期 5 講時	7 名 ^(※)	7 名 ^(※)	100%
社会人基礎力養成講座Ⅲ (ビジネスマナー)	前期 4 講時	14 名	10 名	71%
社会人基礎力養成講座Ⅲ (ビジネスマナー)	前期 5 講時	19 名	16 名	84%

(※) 社会人基礎力養成講座Ⅱは、前期実施のⅠを受講した上での申込みであるため、申込人数は少ないが、出席率が高い。

【正課外講座における今後の課題】

この結果から、申込みはしたものの初回講座から欠席する学生が 30%程度存在することがわかる。このことから、学習しなければならないという意識は持っているものの、実際に行動できない学生が少なからず存在することが予想される。当日欠席する理由について調査・分析の必要性を感じた。

(4) 西日本合同研究会（西日本インカレ）出場

就職活動に必要な基礎力養成の一環として、グループ研究を推進した。企業を研究することで世の中について理解し、就職活動に必要な行動力養成をはかった。その成果として、日経 BP 社主催日経ビジネスアカデミックサポートプログラム「西日本合同研究会（西日本インカレ）」に挑戦した。一次審査（研究資料・計画書の書類審査）を通過（応募全 42 チーム中 15 チーム）し、平成 22 年 12 月 12 日（土）に大阪経済大学で開催された本選プレゼンテーション大会（図 11）に出場することができた。



図 11 西日本インカレ本選大会風景

(5) 社会人基礎力養成合宿

当初予定の社会人基礎力養成講座終了後、「就職につながる力の育成」として体験学習を実施した。合宿研修の内容と1日目のオリエンテーション、2日目のグループ発表の様子（図12）グループ成果物、社会人基礎力養成の成果は、以下の通りである。

① 合宿研修の内容

合 宿 研 修 内 容				
日程	平成 23 年 3 月 2 日 (水) ～3 日 (木)			
会場	京都光華女子大学、京都市宇多野ユースホステル			
研修概要	4～5 人で 1 チームとなり大学から宇多野ユースホステルに向かう途中で、実際に現地を歩きながら、嵐山における若者向け現地マップを作成する。与えられた制限時間内、かつ予算の範囲内で実施し、旅のもつ学びの要素である「コミュニケーション力・状況対応能力・当事者意識」を学び、自己意識化（ふりかえり）する。			
目的	就職活動や仕事をするために必要な基礎力を体験しながら学ぶ ① 実際に提示された課題を解決する ⇒ 自身の考える力が身に付く、社会に貢献できる ② チームとして行動する ⇒ チームで行動する難しさ、楽しさを知る 			



図 12 事前ワークショップ・グループ発表の風景

② 課題成果物

チーム「えんじょい」のマップ

自然にふれる愛子山の旅



チーム「夏休み」のマップ

1人予算1,500円で行ける!!
学生さんたちよっといでえ~!!



チーム「冬」のマップ

食べ歩き大好き!! 友だちカップル♡
誰と行くかで変わる?! 嵐山

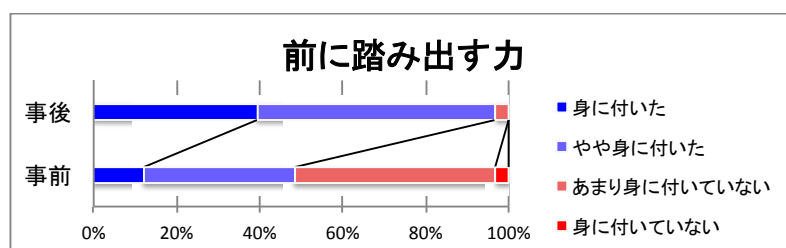


③ 社会人基礎力養成の成果

このプログラムでは社会人基礎力の要素に対する自己の課題の意識化、定着に加え、実践を通じた経験からの学びにより「自己肯定感を持ち」、「実践から学び方を学ぶ」という効果があった。アンケート結果から「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の全てにおいて、事前アンケートに比べ、プログラム後にはそれぞれの能力が身に付いた、という回答結果が見られた。

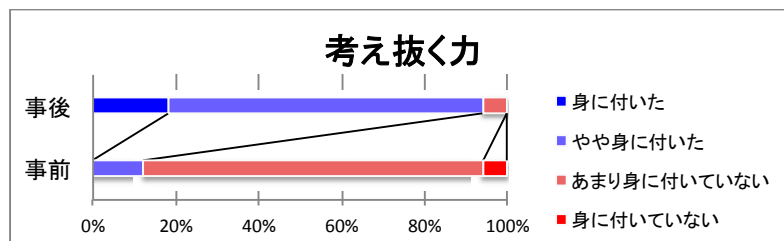
1) 前に踏み出す力

プログラム前には「前に踏み出す力」が身に付いている、やや身に付いていると答えた人の割合が5割程度だったが、プログラム後には9割強が身に付いた、やや身に付いたと実感している。



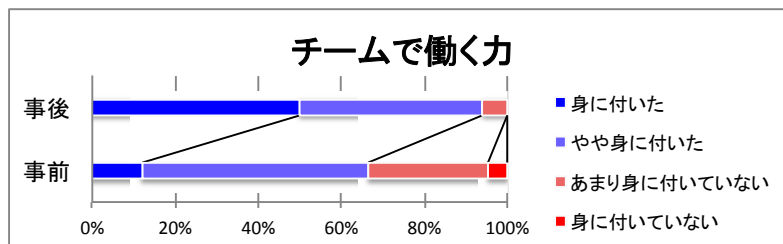
2) 考え抜く力

プログラム前には「考え抜く力」が身に付いている、やや身に付いていると答えた人の割合が1割強だったが、プログラム後には9割強が身に付いた、やや身に付いたと実感している。



3) チームで働く力

プログラム前には「チームで働く力」が身に付いている、やや身に付いていると答えた人の割合が7割弱だったが、プログラム後には9割強が身に付いた、やや身に付いたと実感している。



アンケートにおける主な自由コメント

- 今後、様々な学内・学外を問わない活動に参加、発信したい
- 何事にも挑戦していく
- 自分の弱点を自分の気持ちしだいで克服することができる
- グループを通じて自身の足りない能力を認識することができた
- 自分の弱点を伸ばすために、どうやったら伸びるのかを考えたり、他の人に言ってもらったりすることが良かった
- もう少し自分に自信をもっていいと分かった

2.3 就活基礎力診断とフォロー

(1) 診断テストについて

3年生全員を対象に就活準備度診断として、キャリア・アプローチ（株式会社ベネッセコーポレーション）を利用した。この診断テストは、全国の大学で実施実績のあるテストで、本学でも平成19年度から実施しており、その参加状況は以下の通りである。

表 8 診断テスト受診状況

実施年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
参加人数	191 名	179 名	188 名	226 名
日本語日本文学科	44	24	44	46
国際英語学科	8	18	17	27
人間関係学科	56	59	58	74
社会福祉学科	36	24	9	35
健康栄養学科	47	54	60	44

この診断テストは、3年生の「就職ガイダンス」の一部として学生キャリア支援センターが案内し、11月に就職ガイダンスで受診、あるいは自宅受診する方法で実施し、平成19年に開始してから毎年190名前後の希望者が受診している。本取組により平成22年は就職活動に関する支援体制を強化したこともあり、学生への周知徹底をはかり、この診断を学科教員からゼミを通して配布する方法に変更した。このため、これまで積極的ではなかった学生層への受診きっかけにつながったと考えられる。

診断結果としては、以下8項目が明示される。

- ① 進路に対する意識
自分自身や社会、学びへの意識の状況を確認する
- ② 性格の傾向
それぞれの性格を長所としてとらえる
- ③ 能力の強み
得意な能力はさらに伸ばし、苦手な能力は補強するための指標
- ④ 社会的強み
自分の強みを発見し、普段どのように発揮されているのか考える
- ⑤ 興味のある業種
知らない職種は調べ、自分の視野を広げるための指標
- ⑥ 選職志向性
自分の価値観を整理し、仕事選びの基準をつくる
- ⑦ 適性職種
自分の強みを活かせる職種を探し、選択の幅を広げる
- ⑧ 就職活動へのレディネス
準備が整っていない部分を確認する

(2) 就活基礎力の診断項目と結果

就活基礎力としては、「就職活動へのレディネス」の結果を指標とすることとした。就職活動へのレディネスでは、以下の9種の状況について、Aランク（就職活動に向けてスタートが切れる段階）からEランク（準備運動の段階）の5段階で活動状況の把握ができる。

- ① 総合
- ② 目標設定：将来の目標を明確にしているか
- ③ 自己理解・自己評価：自分自身について、自己及び他者の視点で理解しているか
- ④ 自己開発：社会との関わりの中で自分の進む道を確立し実現に向けて進んでいるか
- ⑤ 職業情報：さまざまな観点、情報源から仕事の情報を収集しているか
- ⑥ ネットワーク：就職活動や情報収集のために対人ネットワークを構築しているか
- ⑦ スキル：就職活動中や社会人になった時に必要なスキルを自分のものになっているか
- ⑧ 意思決定：職業情報と自己についての情報を用いて合理的な意思決定をしているか
- ⑨ 活動の遂行：就職活動の成就に向けて、問題や課題に対処しながら活動を継続しているか

平成22年10月に実施した各種のランク別の人数構成を図13に示す。

Aランクは、就職活動に向けてスタートが切れる段階、Eランクは準備運動の段階を意味する。AやB・Cランクの人は、さらに情報収集や整理を行い、DやEランクの人は、まずは相談にのってくれる人を見つけ、落ちついて取り組めるようにするという状況を表す。

この結果から、自己理解・自己評価、職業情報、スキル、意思決定、活動の遂行については、診断テストを受診した60%以上の学生が、自分の力で情報収集していける状態との結果が出た。

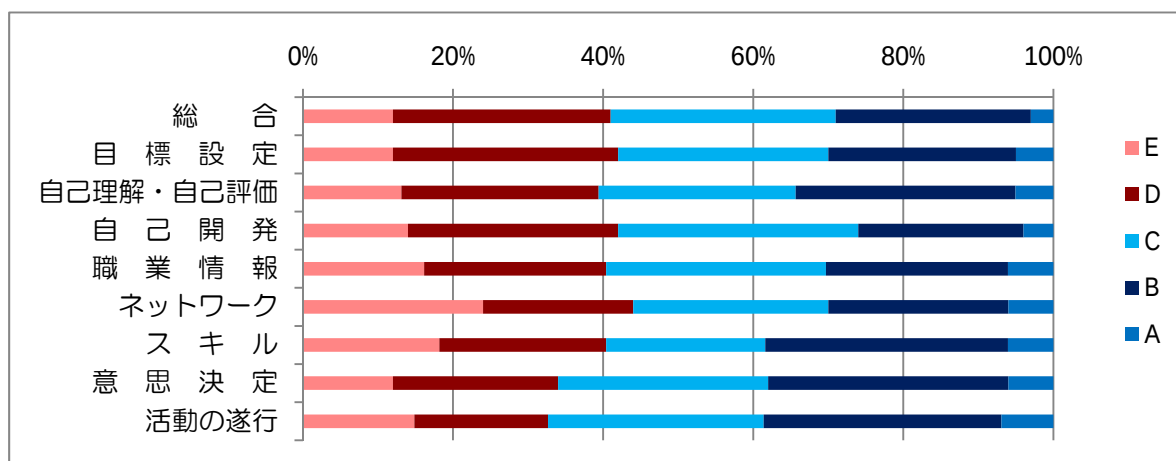


図13 平成22年就活準備度診断結果ランク別構成

総合の結果について、過去3年間の受診率とランク別人数構成の推移は以下のとおりである。

表 9 診断テスト受診率とランク別人数構成の推移

	平成 20 年		平成 21 年		平成 22 年	
受診率	43%		51%		65%	
A（準備万端）	7%	55%	2%	70%	3%	59%
B（準備は順調）	22%		30%		26%	
C（準備は順調）	36%		38%		30%	
D（相談相手が必要）	26%	35%	20%	30%	29%	41%
E（相談相手が必要）	9%		10%		12%	

平成 20 年は 179 名受診で E 9%、D 26%、平成 21 年は 188 名受診で E 10%、D 20%であった。平成 22 年は 226 名の受診で E 12%、D 29%という結果であった。

結果として D と E の割合は増えている。このことは、本取組により就職活動支援体制を強化したことにより、就職活動への意識を高め、その結果、以前であれば就職活動に興味を示さなかった学生への受診を推進した結果と考えられる。当初の計画に基づき、この診断結果で掘り起こしができた学生層への進路に向けたフォローを強化することとした。

(3) フォローガイダンス

この診断をもとに以下のフォローを行った。

- ① 診断結果の見方と活用方法を説明する「フォローガイダンス」
- ② 診断結果の活用を深める「スペシャル講座」
- ③ 目標設定が D、E ランクの学生を対象にしたキャリアメンターによる個別面談

フォローガイダンスとスペシャル講座の参加状況とアンケート結果は以下の通りである。

表 10 フォローガイダンス参加状況

学科	受診対象数 (3 年生在籍数)	受診人数	フォローガイ ダンス参加数	スペシャル 講座参加数
全学	348 名	226 名	153 名	46 名
		65%	44%	13%
日本語日本文学科	61 名	46 名	33 名	8 名
		75%	54%	13%
国際英語学科	49 名	27 名	20 名	4 名
		55%	41%	8%
人間関係学科	123 名	74 名	45 名	17 名
		60%	37%	14%
社会福祉学科	37 名	35 名	32 名	11 名
		95%	86%	30%
健康栄養学科	78 名	44 名	23 名	6 名
		56%	29%	8%

フォローガイダンスは以下の 3 日に分けて実施した。アンケート結果と自由コメントは以下の通りである。

表 11 フォローガイダンスアンケート結果

参加日	大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	無記入	合計
11 月 10 日	13	19	0	0	7	39
11 月 11 日	21	14	0	0	34	69
11 月 12 日	7	6	0	1	15	29
合計	41	39	0	1	56	137

アンケートにおける主な自由コメント

- 今、何をしたいのか、何がしたいかわからないので、参加してよかったと思います。短い時間でしたが自分のためになりました。ありがとうございました。
- やることがいっぱい思い浮かんだので、まずそれから取り組みたいと思います。
- わかってはいるけれど言葉に表せなかったことが結果にでていたので、すっきりしました。
- 自分の考えの甘さがよくわかり、気持ちが引き締まった。
- 自分では思っていたのと強みが違ったので、自分の違う一面が見つけられた。自己 PR を書くのがとても難しかったです。
- 自己分析に使えるような材料がたくさん得られたので、とても参考になりました。

2.4 企業情報の収集・調査

学生が就職を希望する企業について情報収集・調査を行った。
以下は、訪問した主な企業である（順不同）。

PHP研究所

よしちゅう
吉忠株式会社

イオンモール株式会社

京都トヨタ株式会社

イトキン株式会社

京都中央信用金庫

ウライ株式会社

ごうめん
江綿株式会社

タカラベルモント株式会社

合同製鉄株式会社

つるや株式会社

寺内

ニチコン株式会社

滋賀ダイハツ販売株式会社

ハマナカ株式会社

十三信用金庫

株式会社ジェイアール西日本伊勢丹

摂津水都信用金庫

株式会社スズキ自販滋賀

前田建設工業株式会社

株式会社京都銀行

村田機械株式会社

株式会社京都東急ホテル

東海旅客鉄道株式会社

株式会社三井田商事

日本電産シンポ株式会社

株式会社村田製作所

日本電産株式会社

関西電力株式会社

野村証券株式会社

他多数

2.5 支援環境

(1) eラーニングコースの提供

提供コースは以下の10コース（図14）で、個別に利用申請した学生は以下のとおりである。人間関係学科、日本語日本文学科、国際英語学科については、各学科の要望を受け学科が希望するコースに全員を登録した。延べ1,326名の学生を受講登録し、この内514名が自らの意志で登録したもので、残りの812名は所属学科で自動的に登録したものである。

① 就職活動入門	36名
② 就職面接入門	51名
③ 働く意義と会社のしくみ	77名
④ 社会人マナー入門	71名
⑤ 正しい日本語入門	71名
⑥ レポート作成入門	37名
⑦ プレゼンテーション入門	37名
⑧ ディベート入門	36名
⑨ TOEIC（写真描写問題）	49名
⑩ TOEIC（応答問題）	49名

※これらの個別申込み以外に、学科からの依頼により
 -人間関係学科の2～4回生全員を
 全コースに登録（436名）
 -日本語日本文学科と国際英語学科の
 2～4回生全員をTOEICの2コースに登録（376名）

eラーニングコース

本学では、在学期間中無料でご利用いただけます各種eラーニングコースを提供しています。ご利用にはお申込みが必要です。随時、お申込みを受け付けておりますので、ご希望のコースがございましたら、徳風館4階・情報教育センター受付にお気軽にお申込みください。また、[こちら](#)から申込用紙をダウンロード・メール(ecis@mail.koka.ac.jp)に添付でお送りしていただいても結構です。

申込後は、下記リンクより直接各コースにアクセスできます。（下記リンクから、ログイン出来る方は既に登録が完了しています。）

- レポート作成入門 Study Skillシリーズ
- プレゼンテーション入門 Study Skillシリーズ
- ディベート入門 Study Skillシリーズ
- TOEIC写真描写問題
- TOEIC応答問題
- リメディアル統計学Ⅰ
- 正しい日本語入門
- 就職面接入門
- 社会人マナー入門
- 簿記入門
- 情報倫理

就職面接入門コース

第1章 面接前にチェックしよう！
 第2章 面接の服装、必須アイテム
 第3章 面接の基本マナー
 第4章 自己PRの答え方
 第5章 志望動機の答え方
 第6章 面接の基礎知識と集団面接
 第7章 グループディスカッション
 第8章 個人面接と役員面接
 第9章 圧迫面接と逆面接

このような構成で、就職面接入門コースの学習を進めます。それぞれの章ごとに簡単な「確認問題」を用意しています。復習しながら進めてください。

それでは、いよいよ講座スタートです。左のメニューから学習を開始してください。

本書は、(株)高橋書店が発行する書籍「就職マスター1 新面接スーパー攻略」をもとに、日本一ツタインフォック(株)が制作しました。

著作者：渡辺剛氏のプロフィール
 大学卒業後、入社した企業の人事部にて新卒採用業務に従事する。同社を退社後、新規設立された企業で人事・総務を兼務。累計50名以上の学生を面接。現在は採用コンサルティングとして、複数の企業の採用戦略・面接指導・新人研修などを手がける。

著作権：渡辺剛
 無断複製・転載禁止

図14 eラーニングの画面例

(2) 面談予約システム

キャリアメンターによる個別面談に積極的に取り組んだ。学生の利便性と面談予約の効率化をはかるために、面談予約システムを導入した。

予めキャリアメンターが面談枠を設定し登録すると面談予約一覧（図 15）に表示される。学生は、空き時間を確認（図 16）し、希望時間をクリックするだけで予約ができる。学生には、学生ポータルサイト（光華 navi）を通じて、その活用を周知した（資料 1）。



面談名称	実施期間	空き状況	予約数/ 予約上限数	予約履歴
キャリア教育 個人面談	2011/04/22(金)～2011/07/28(木)	空きあり	0/3	
キャリア教育 セミナー【音楽道】	2011/06/01(水)～2011/06/20(木)	空きあり	0/1	
キャリア教育 セミナー【音楽道】	2011/06/15(水)～2011/06/27(月)	空きあり	0/3	
キャリア教育 セミナー【音楽道】	2011/06/29(水)～2011/07/11(月)	空きあり	0/3	
キャリア教育 セミナー【メールのマナー】	2011/07/13(水)～2011/07/25(月)	空きあり	0/3	
キャリア教育 セミナー【電話のマナー】	2011/07/20(水)～2011/07/27(水)	空きあり	0/3	

図 15 面談予約一覧



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図 16 予約状況

(3) 学生面談システム

学生の相談結果は、学生面談システムに登録を行い、教職員間で情報共有を行った。登録された面談記録は、学生毎に一覧表示（図 17）され、いつ、どのような相談で、だれが対応したかが一覧表示できる。各タイトルをクリックすると面談記録の詳細画面（図 18）が表示される。

日付	分	タイトル	登録者
2011/03/04	面談記録(キャリア相談室)	面接対策セミナー	キャリアアドバイザー
2011/02/25	面談記録(キャリア相談室)	個人面談	キャリアアドバイザー
2010/05/24	面談記録(キャリア相談室)	エントリーシート	キャリアアドバイザー
2010/05/23	面談記録(キャリア相談室)	ゼミ出席確認	キャリアアドバイザー

図 17 面談記録一覧

面談記録(キャリア相談室)

キャリア相談室の面談履歴を管理します

●タイトル 個人面談実施

●面談日 2011/05/18

●対応者 キャリアアドバイザー 加藤

●相談内容

ゼミ活動の軌跡です。
アルバイトから正社員登用を希望している。(スーパードラッグストア) 卒業後は人事の仕事がしたい。
就職活動が不安。

●対応内容

特に学生の生活はどうですか。就職活動をするにあたり今後のタイミングで向き合ってください。就職や入学の準備はいつからでも可能です。相談してください。コミュニケーションが大切だったので、面談も助かる。

●相談事項

●登録日 2011/05/18

図 18 面談記録詳細画面

2.6 外部講師による学内学習会

外部の情報を広く取り入れる目的で、外部講師を招いて学習会を実施した。特に、就職活動支援で教員の理解を深めるテーマでの学習会を設定し、直接学生の状況を把握している講師を招致し、意見交換を行った。

(1) 就職戦線の現状（平成 22 年 6 月 24 日）

講 師： 毎日コミュニケーションズ京都支社 就職情報事業部キャリアサポート課

- ◆ 就職活動の基本的な流れから、近年の採用状況、実際に学生が利用する就職支援サイトまで具体的なイメージを紹介していただいた
- ◆ 現状について、具体的な質疑応答により参加者の共通認識につながった

(2) 先生方に支援を期待すること（平成 22 年 9 月 22 日）

講 師： 京都文教大学 事務局長兼キャリアサポート課長

- ◆ 「キャリアサポートの効果」として就職ガイダンスや面接練習の参加率と内定月の相関図など、実際のデータに基づいた興味深い取り組みについて報告いただいた
- ◆ 卒業生アンケートや今年度新たに取り組んでいる事など、積極的な取り組みについてご紹介いただいた

(3) 自己発見レポート、キャリアアプローチから見た学生の特質（平成 22 年 11 月 25 日）

講 師： 株式会社ベネッセコーポレーション 大学事業部

- ◆ 本学学生の診断結果から、各学科特性について報告を行った
- ◆ 各学科の特性から今後の改善策を導き出すには時間的に不十分との意見を受け、その後、各学科会議での検討会に発展した

(4) 大企業と中小企業のパラダイム、これから伸びる企業とは（平成 22 年 12 月 2 日）

講 師： 株式会社宙（s o r a） 代表取締役

- ◆ 1 万人の面接とキャリア・カウンセリングを通して感じられた事を紹介いただいた
- ◆ 大企業と中小企業それぞれのメリットとデメリットを整理していただいた

(5) キャリア・カウンセリングの実際（平成 23 年 3 月 10 日）

講 師： 株式会社ANA総合研究所 主任研究員

- ◆ 第一部として、全教員に対して実際のキャリア・カウンセリング事例の紹介を行った
- ◆ 第二部は、キャリア・カウンセリングの実際としてロールプレイを行った

2.7 評価（就職支援連絡会）

各学科、関連部署の代表委員が参加して、隔月で「就職支援連絡会」を実施し、実施計画や内容について情報共有・意見交換を行うことで取り組みを評価し、都度、改善を行った。

特に、キャリアメンターの活動報告と学生キャリア支援センターの就職活動支援状況については、学科別に詳細報告する事で、各学科教員との連携による支援体制の強化をはかった。

- | | | | |
|-----|---------------|---------|----------------------|
| (1) | 平成 22 年度第 1 回 | 就職支援連絡会 | 平成 22 年 4 月 22 日（木） |
| (2) | 平成 22 年度第 2 回 | 就職支援連絡会 | 平成 22 年 6 月 24 日（木） |
| (3) | 平成 22 年度第 3 回 | 就職支援連絡会 | 平成 22 年 9 月 22 日（木） |
| (4) | 平成 22 年度第 4 回 | 就職支援連絡会 | 平成 22 年 11 月 25 日（木） |
| (5) | 平成 22 年度第 5 回 | 就職支援連絡会 | 平成 23 年 2 月 3 日（木） |
| (6) | 平成 22 年度第 6 回 | 就職支援連絡会 | 平成 23 年 3 月 10 日（木） |

2.8 広報

本取組に関連して、以下のような広報活動を行った。

- (1) 平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラム事例集への投稿（資料 2）
- (2) 平成 22 年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」・「大学教育・学生支援推進事業」学生/就職支援推進プログラム意見交換会(近畿地区)での事例紹介（資料 3）

平成22年度
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
大学教育・学生支援推進事業
(学生/就職支援推進プログラム)

意見交換会 就職をめぐる諸情勢等について考える。

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」「大学教育・学生支援推進事業/学生/就職支援推進プログラム」は、社会の要請に応える大学等の取組を認定・支援し、各大学等の改革が一層推進されることに加えて、認定された取組の情報を共有の財産として、多くの大学等に積極的に情報提供することを目的としていることから、「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」「大学教育・学生支援推進事業/学生/就職支援推進プログラム」に認定された大学、短期大学、高等専門学校等の取組内容等について、広く情報提供を行うため、意見交換会を実施します。

また、新たな試みとして、講演・パネルディスカッションを通じて就職をとりまく現状等について考えていきます。

仙台	12月15日(水)
東京	12月2日(木)
名古屋	12月7日(火)
大阪	12月10日(金)
福岡	12月3日(金)

(詳細は裏面をご覧ください)

参加を希望される方は、下記のホームページより「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、電子メールまたはファックスにより、それぞれの開催日の4日前までにお申し込みください。
ホームページアドレス: http://www.jasso.go.jp/ken_ku/shingiro/kenkan22.html

お問合せ
独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活部学生生活計画課
TEL 03-5520-6166
FAX 03-5520-6046
E-mail shingiro@jasso.go.jp
http://www.jasso.go.jp/ken_ku/shingiro/kenkan22.html

独立行政法人 日本学生支援機構
Japan Student Services Organization

3. 成果とまとめ

3.1 就活基礎力養成に関する成果物

(1) 自己診断シート

キャリア相談室での個人面談やセミナーを通して、学生がセルフチェックできるシートの原案を作成した。今後、各シートの項目を精査と各学生が手軽に利用できる仕組みを構築することで、学生が自信を持って就職活動時期を迎えることを目指す。

① 自己理解度チェックシート（図 19）

② 就活基礎力チェック（図 20、図 21）

- メンタルチェックシート
- 情報収集力チェックシート
- 自己分析チェックシート
- 就活グッズチェックシート
- 筆記対策チェックシート
- 業界研究チェックシート

自己理解度チェックシート		
チェック日: 年 月 日		
自分に対する理解		
No.	チェック項目	チェック欄
1	自分の長所がわかっている	
2	自分の短所がわかっている	
3	最も嬉しかった時のことを思い出せる	
4	最も悲しかった時のことを思い出せる	
5	自分がどんな時に感動できるか知っている	
6	自分がどんな時に熱中できるか知っている	
7	自分のどこが魅力的か知っている	
8	自分がどんな状況で焦り始めるかわかっている	
生活態度について		
No.	チェック項目	チェック欄
1	世代の異なる人達とも楽しく付き合える	
2	失敗してもくよくよしない	
3	環境の変化に強い	
4	何事にも行動的にチャレンジする(まうである)	
5	ものおしせずに意見を主張できる	
6	好奇心が旺盛である	
7	困難にぶつかってもあきらめない	
8	元気がいいと他人に思われている	
健康について		
No.	チェック項目	チェック欄
1	ふだん続けている運動がある	
2	毎日よく歩いている	
3	規則正しい生活を送っている	
4	自分らしい健康とは何かわかっている	
5	薬はいつも適量服用している	
6	風邪をひいてもすぐ治る	
7	日ごろからメンタルヘルズに留意している	
8	健康についてセルフコントロールができる	
余暇について		
No.	チェック項目	チェック欄
1	毎日8時間やっても飽きない趣味がある	
2	1日7時間やっても退屈しない	
3	時間があればもっとやりたいことがある	
4	自分の遊び方に満足している	
5	遊ぶために仕事(学業)を効率化できる	
6	友達、家族で楽しめる余暇活動を持っている	
7	連休や長期休暇の過ごし方に不安はない	
8	趣味の仲間がいる	

※各項目が6つ以上チェックがつけば、自己理解ができているという目安です

図 19 自己理解度チェックシート

メンタルチェックシート

チェック日: 年 月 日

以下の項目はできていない

No

1 将来就

2 就職活

3 フリータ

4 卒業後

5 好き、嫌

6 何に関

情報収集力チェックシート

チェック日: 年 月 日

以下の項目について、できていますか？すべてYESなら、就活準備は万全です。自信を持って、活動を開始して下さい。できていない項目は、準備シートを参考にしてください。

No

1 インターネット

2 就職情報サイト

3 新聞を読む習慣

4 大学のキャリア

自己分析チェックシート

チェック日: 年 月 日

以下の項目について、できていますか？すべてYESなら、就活準備は万全です。自信を持って、活動を開始して下さい。できていない項目は、準備シートを参考にしてください。

No

チェック項目

チェック欄

レベル

準備シートNo

1 自分の長所を知っている(話せる、書ける)

1

1、2

1

1、2

1

1、2

2

2

1、3

1、3

就活グッズチェックシート

チェック日: 年 月 日

以下の項目について、できていますか？すべてYESなら、就活準備は万全です。自信を持って、活動を開始して下さい。できていない項目は、準備シートを参考にしてください。

No

1 リク

2 履歴

3 靴、ス

4 就活

5 PCを

6 Uタ

7 履歴

筆記対策チェックシート

チェック日: 年 月 日

以下の項目について、できていますか？すべてYESなら、就活準備は万全です。自信を持って、活動を開始して下さい。できていない項目は、準備シートを参考にしてください。

No

1 SPIという言葉の意

2 筆記試験対策本を

3 適職診断テストなど

4 就職ガイダンスで、

5

業界研究チェックシート

チェック日: 年 月 日

以下の項目について、できていますか？すべてYESなら、就活準備は万全です。自信を持って、活動を開始して下さい。できていない項目は、準備シートを参考にしてください。

No

チェック項目

チェック欄

レベル

1 業種と職種の違いがわかる

2

2 気になる業界がある

2

3 気になる職種がある

2

図 20 就活基礎力チェックシート

準備シート No.1

自己分析シート「好きだったこと、得意だったこと」

好きだったこと
得意だったこと

その理由

小学校時代

準備シート No.2

私が長所だと考えているところ

私の長所(3つ)

その理由

それを活用したこと(エピソード)

社会人として長所をどう活かすか

中学校時代

準備シート No.3

学生時代に力を入れたこと

[ゼミ・卒論・クラブ・サークル・アルバイト・趣味]

内容

なぜそれに力を入れたのか

楽しかったこと

苦しかったこと

そこから学んだこと

高校時代

準備シート No.4

志望動機を書いてみよう

私のセールスポイント

私が志望する業界

私が志望する職種

大学・短大時代

準備シート No.5

職業表

ジョブ・ファミリー

A マーケティング・販売

B 経営管理・企画

C 設備・設備管理

D 金融取引

E 経営・経営管理

仕事の分野

営業の仕事

接客の仕事

マーケティングの仕事

管理職の仕事

企画の仕事

経営企画の仕事

人材育成の仕事

統括の仕事

プロデュース・ディレクターの仕事

一般事務の仕事

専門事務の仕事

経理・会計の仕事

金融機関の仕事

研究の仕事

開発の仕事

資金運用の仕事

商品開発の仕事

運行管理の仕事

好きなこと・得意なこと

周りの人が長所だと考える私の長所

友人が考える私の長所

長所が発立ったと言われる仕事

友人が私に向けていると考える仕事

家族が考える私の長所

家族が私に向けていると考える仕事

図 21 就活基礎力チェック・準備シート

(2) 相談対応事例集

キャリアメンターが行った個人面談の相談内容をもとに、回答事例（図 22）をまとめた。学生から相談を受けた教職員がこれまでの相談回答事例として活用することを目的とした。

キャリア相談室 相談対応事例(2010年11月～2011年2月末)

学部	学年	相談年	相談月	相談内容	対応・アドバイス	備考	
1	E	3	2011	1	説明会に参加するが、いつも質問事項的に出席しない、どうしたらよいか	企業説明会では会社情報やパンフレットでは知りえなかった職場の雰囲気や社員の様子を知ったり、より具体的な仕事内容について質問するようにする。	企業が求める人材像や業務内容については、参加する以上必ず確認しておくべき。受身の姿勢で参加するのは意味がない。
2	E	3	2011	1	企業が求めている人材が具体的にわからない	●求められる人材は、会社や職種によって異なるので、企業研究の中で見つけ出す。世の中には様々な業種や職種がある。日常生活を振り返ったり、参考書やインターネット等で調べながら業種・職種を書き出してみよう。 ●キャリア支援センターやキャリア相談室を案内。 キャリア相談室***月～金 9:05～16:50 4号館336研究室（予約制） 個人面談や各種セミナーも実施しております。予約は来室してから受付中。）なお、この情報は2011年3月31日まで。	(例)日常生活でよく利用する場所はどこか そこにはどんな職業の人がいるか、どのように働いているか興味を持って調査し、書き出す。 (参考)求められる人材 マスコミ、出版***表現力、文章力、好奇心など 接客、販売***会話力、想像力、協調性など 医療、福祉***専門知識、向上心、コミュニケーション力など 事務***PCスキル、会話力、ルーティンワークでも緊張感や責任感をもって業務に取り組む姿勢など
				自分の性格がどういった業種・仕事内容に適しているか考えたい	●キャリア支援センターやキャリア相談室の図説を参照。 (営業職いや事務等、コミュニケーション力の確認) ●コミュニケーション力や実行力が求められる。(授業では積極的に発言しているが等...) ●コミュニケーション力***日常的に周囲の人と関わり合っているか、正しい事柄を述べているか、相手のことを考えて行動した経験はあるか。 ④アルバイト***一部のアルバイトや経理職では、給仕のアルバイトを募集しているところもある。そういったアルバイトを通して、自分の目で現場を見てみるのもよい。	(参考)ブライダル業 ドレスのデザイン、管理、接客販売、結婚式の給仕、プラン企画開発、接客、プランナー等、業務は多岐にわたる。例に興味をもっているのか、その理由も説明できるか。	
4	E	3	2011	1	自分が就きたい業種・業種がわからない	●参考書・インターネット・日常生活を振り返るなどを行い、社会にどのような職種、業種があるのかまず調べる。 ①業種とは (例) ものを作る＝総合商社、専門商社、卸売業、小売(百貨店、スーパー、ドラッグストア、家電量販店など) サービスや情報を提供する＝マスコミ、出版、医療福祉、飲食、レジャー、通信、情報など ②企業・機関、技術、営業、販売、広報、宣伝・宣伝、運営、業務、資格取得が必要な専門職(教員、司書、国家公務員、医師、看護師、薬剤師など) その他の専門職(編集者、ライター、営業開発員、システムエンジニア、デザイナーなど) ③自己分析する***自己分析について知っているが確認する。 (自分の性格がどういった業種・仕事内容に適しているか考えてみる。)	

図 22 相談対応事例一覧（一部）

(3) 業種別就職状況

自分の所属学科の先輩が、どのような業種に就職しているかという学生からの質問に回答するために、過去5年分の進路データをもとに進路状況をまとめた。

業種を絞り込む、あるいは卒業年次の学科を絞り込んで就職先一覧が表示できる（図 23）。

No	企業名	業種	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
98	いと重	57 飲食料点小売業		●(日文)			
91	えびす屋加兵衛	57 飲食料点小売業					●(人間)
132	轉たなや	57 飲食料点小売業	●(人間)			●(人間)	●(日文)
433	轉デミック	57 飲食料点小売業		●(人間)			
448	ドエル	57 飲食料点小売業				●(デザイン)	
488	バイカル	57 飲食料点小売業				●(英文、人間)	
595	メゾン・ド・ガトー	57 飲食料点小売業					●(人間)
665	ロック・フィールド	57 飲食料点小売業					●(人間)
722	轉科館ハッポ本舗	57 飲食料点小売業	●(情報)				●(日文)
723	一善食料品(自営業)	57 飲食料点小売業		●(人間)			
742	奥田商店	57 飲食料点小売業				●(人間)	
782	吉寿屋	57 飲食料点小売業					●(人間)
900	京フーズ	57 飲食料点小売業				●(デザイン)	
908	京遊ヤクルト販売轉	57 飲食料点小売業	●(日文、人間)	●(人間)			
915	京佃養殖やよい	57 飲食料点小売業					●(にども)
992	轉轉味	57 飲食料点小売業		●(人間)			
999	轉源吉光庵	57 飲食料点小売業		●(人間)			
1191	轉西利	57 飲食料点小売業	●(人間)	●(人間)		●(人間、人間、デザイン)	
1454	轉白玉屋栄壽	57 飲食料点小売業		●(日文)			●(人間)
1471	美濃寺	57 飲食料点小売業		●(人間)			●(人間)
1513	米のやマト	57 飲食料点小売業				●(デザイン)	
1529	満月	57 飲食料点小売業				●(デザイン)	
1542	野村佃煮	57 飲食料点小売業			●(日文)		
1564	轉和晃	57 飲食料点小売業	●(人間)				

図 23 企業・業種別就職学生所属学科一覧の画面

3.2 まとめ

就職好調期の就職率 90%（平成 20 年度は 83%）を目指した本取組の成果としては、平成 22 年度卒業生の就職率は、平成 23 年 3 月 30 日現在で 76%（前年度 75%）で達成には至らなかった。しかし、進路を具体的に考えられない学生に対して、学生キャリア支援センターとキャリアメンターが協力して支援する事で同センターへの進路登録カードの提出率は、就職活動時期を迎えた 3 年生で 93%（取組開始時の 3 年生は 65%）と目標値を上回ることができた。今後、提出された進路登録カードを元に同センターからの就職支援を積極的にサポートし、就職率の更なる向上を目指していきたい。

本取組で、就活基礎力の診断結果を基に支援を強化した学年は、平成 22 年度の 3 年生であることから、その成果は平成 23 年度卒業生の就職率まで見る必要がある。リーマンショック以来の景気低迷・求人状況の悪化に加え、東日本大震災の影響により、学生の就職環境はさらに厳しい状態になっていることに鑑み、その達成は困難を極めている。そのような中で本取組では、数値目標以外の以下の成果を上げたと考えている。

- ① 本取組の実施体制を整え、確認することにより、取組全体が目的とする就職支援体制強化が可能となり、「就職支援連絡会」を通して、各関係部署・学科等で学生の就職活動状況の共有を図ることができた。これにより、全学での就職支援に対する取組を大きく前進させた。
- ② 学外のキャリアメンターを登用することで、従来本学と付き合いのない企業や団体の情報が新たな刺激となり、就職活動の場を広げる事ができた。
- ③ オリエンテーション等で学生に「キャリア相談室」を周知したことで、就職活動に対する学生の意識を活性化し、就職活動への取り組み意識が高まった。
- ④ キャリア相談室を継続することで、「進路を具体的に考えられない」あるいは「就職相談する基礎力が不足している」学生の相談場所ができた。学生が相談に来る機会が増え、進路の明確化に関する個別支援を行うことができた。その結果、就職に対する意識を高めることができた。
- ⑤ キャリアメンターから学生にアプローチし、ゼミ担当者と連携して就職活動に必要な基礎力養成を行ったことで、学生個人を大切にした指導を実現できた。また、指導内容を学生面談システムに登録し、指導内容について教職員が相互参照することで支援効果を高めることができた。支援内容の蓄積によりデータ分析の基礎ができ、今後の就職活動支援の方法確立に役立てる準備ができた。
- ⑥ 就職ガイダンスへの参加を促し、大学全体の就職活動を活発化したことで、取組が目指す就職活動に必要な基礎能力の養成と相談件数の向上を支援できた。
- ⑦ 就職活動に必要な基礎知識を学習するための講座や e ラーニング教材を活用したことで、就職活動支援を効果的に進め、その支援効果を高めることができた。

⑧ 就職適性検査で就職活動に対する心構えや準備度を客観的に評価したことで、フォローが必要な学生を把握することができた。実際に就職活動の準備ができていない学生と個人面談を実施し、就職活動に必要な基礎力の養成につながった。

⑨ 本学卒業生の就職先や就職希望先の情報収集を行ったことで、企業が求める人材分析の基礎となり、学生指導に役立てる準備を整えることができた。

⑩ 隔月に就職支援連絡会を開催したことで就職活動の現状を共有し、社会が求める就活力に対応する共通認識ができた。取組の成果について、評価を定期的に丹念に行ったことにより、取組の効果的な実施へ向けてのPDCを徹底し、その効果を上げることができた。

⑪ 実施結果とその評価を報告書にまとめたことで、23年度以降の支援法を確立する足掛かりとなった。

以上の中で、本学規模の大学に於いては、学生個人に対して個別に働きかけることで就職に関する意識を飛躍的に高めることができることを確認したことが大きな成果であると評価している。補助事業期間終了後も、キャリアメンターの有用性を発揮し、これらの働きかけを継続していく予定である。

この成果をもって、本取組を次年度につなげ、数年後に就職好調期の就職率90%を達成させるべく取り組みを強化していく。平成19年度文部科学省 現代的教育ニーズ取組支援プログラムに選定された「学生個人を大切にしたいキャリア教育の推進—個別対応と個別対応教育による就労意識の喚起・醸成と基本的能力の養成—」と今回の成果から平成23年度以降のキャリア支援について検討し、キャリア支援推進の体制と方法（図24）、キャリア（形成）教育と就職支援（図25）により、平成23年度からキャリア教育を推進する事とした。そのサポート内容を学生に周知するために、学生向けのリーフレット「京都光華女子大学におけるキャリア教育・キャリア形成支援」（資料4）、「京都光華女子短期大学部におけるキャリア教育・キャリア形成支援」（資料5）を作成した。

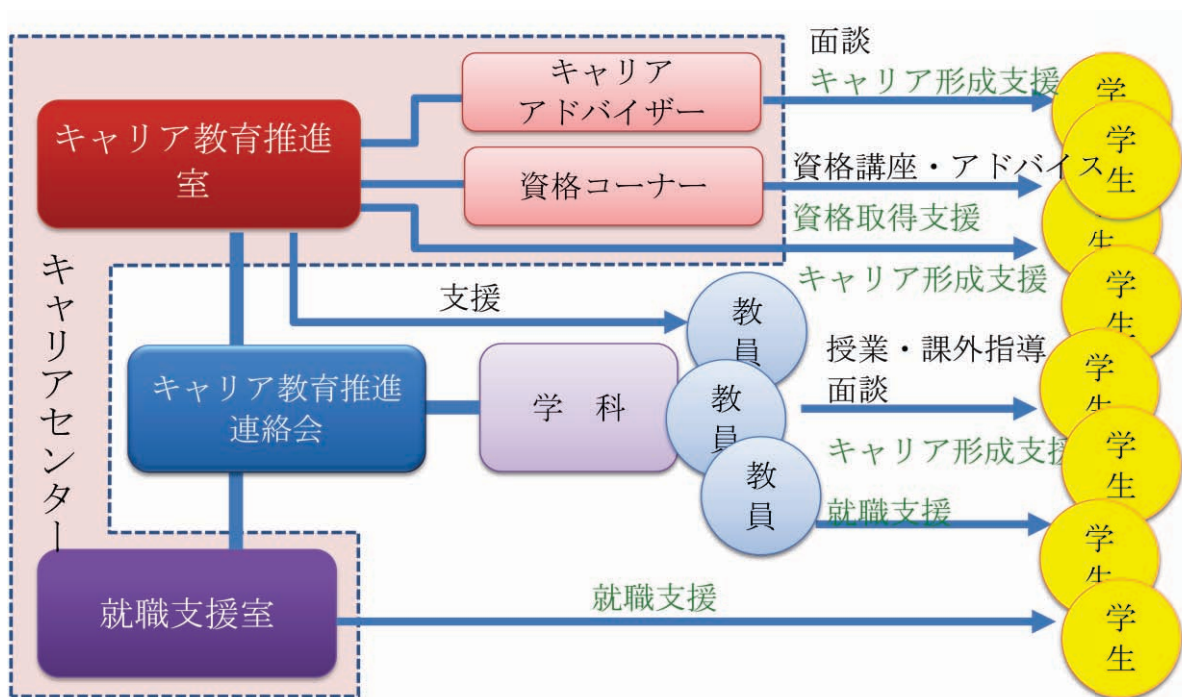


図 24 平成 23 年度からの新体制

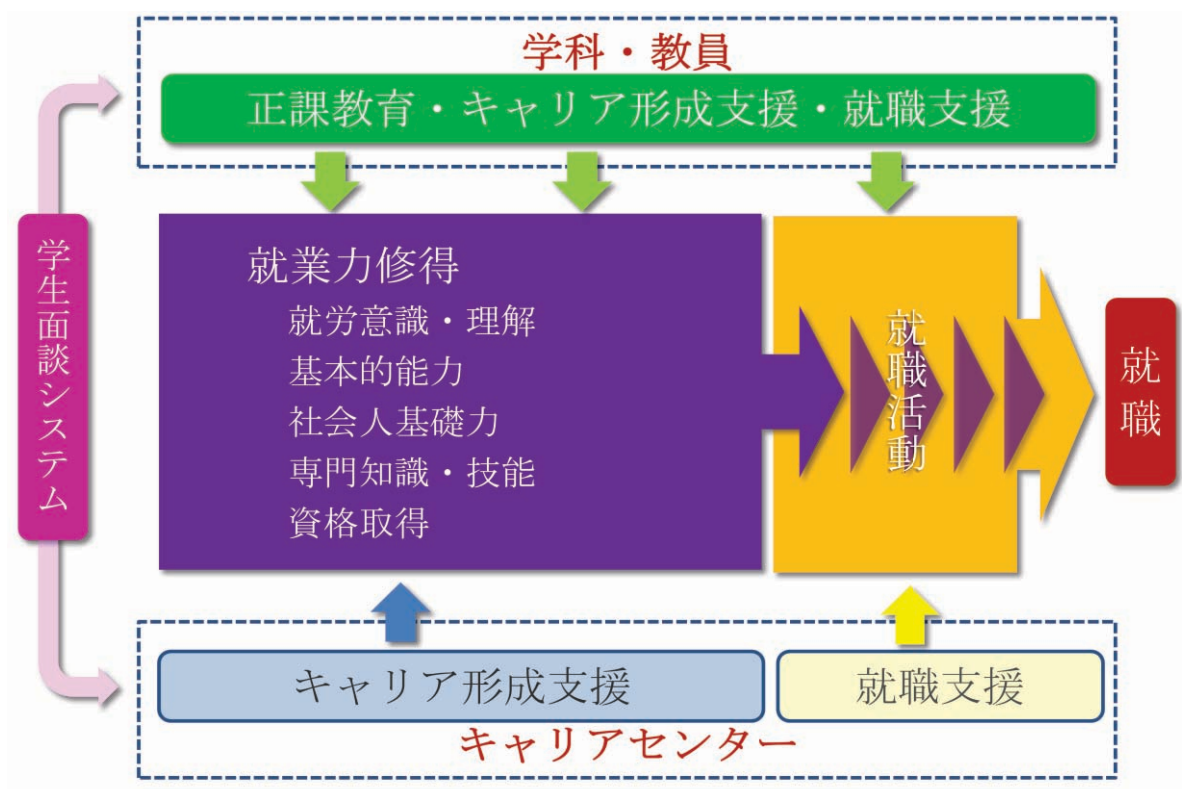


図 25 キャリア（形成）教育と就職支援

在学生の皆さんへ



キャリア相談室・面談予約システム運用開始について

2011 年 2 月吉日
キャリア教育推進センター

キャリア教育推進センターでは、平成 22 年 2 月からキャリア相談室を開設し、全在生を対象に、進路に関する相談対応を行ってきました。昨年 11 月からは相談対応を強化し、大学 3,4 年生と短期大学 1,2 年生を中心に、個人面談を実施しております。

先に学園 IT 推進部からのご案内通り、光華 navi に面談予約機能が追加されました。キャリア相談室ではその機能を利用し、面談予約の受け付けを開始いたします。以下に予約方法を説明いたします。この機会に、社会人と面談する訓練の場として、気楽にキャリア相談室を活用してください。

【面談予約の操作手順】

1. 光華 navi からメニュー選択

[学生サポート] → [面談予約]を選択します。

出欠/成績	学生サポート	キャリア支援
	アンケート回答	
	面談予約	



2. 面談名称の選択

[キャリア相談室 個人面談] または [キャリア相談室 セミナー]をクリックしてください。

面談名称
○ キャリア相談室 個人面談



3. 面談希望日の選択

カレンダーが表示され、予約できる日に○印(△印)が表示されます。

予約したい日の○印(△印)をクリックしてください。



4. 面談を予約する/予約した面談をキャンセルする

カレンダーの下に、面談の時間帯が表示されます。

面談を希望する時間帯の **予約** ボタンをクリックすると予約されます。

予約した日時との都合が悪くなった場合は、

キャンセル ボタンをクリックするとキャンセルできます。

面談日時	面談時間	面談場所	面談内容	面談予約
2011.02.14	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.15	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.16	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.17	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.18	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.19	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.20	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.21	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.22	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.23	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.24	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.25	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.26	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.27	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約
2011.02.28	14:00-15:00	キャリア相談室	個人面談	予約

以 上

事例46◆ 京都光華女子大学

私立 京都光華女子大学

取組名称 学生個人を大切にしたいキャリアメンターによる就活基礎力養成

取組担当者 副学長・キャリア形成学部 教授 山本 嘉一郎

1. 本学の概要

本学の母体である光華女子学園は、東本願寺の故大谷智子裏方が「仏教精神に基づく女子教育」を発願され、1939(昭和14)年9月に開学された。その建学の精神は「仏教精神像に親鸞聖人により明らかにされた真宗の教えによる人間形成」であり、校訓は「み仏のみに自らを問い自我に偏しがちな生活を正し、慈愛に満ちた人として生きてほしい」という願いにより「真実心」を掲げている。

光華女子大学(現、京都光華女子大学)は、1964(昭和39)年9月に開設され、2010(平成22)年4月の改組により現在は、人文学部、キャリア形成学部、健康科学部の3学部とし、人文学部に文学部、心理学科、キャリア形成学部にはキャリア形成学科、健康科学部に健康栄養学科を設置、3学部5学科、計1,600名の学生が学んでいる。

建学の精神に基づき、常に相手の立場に立って考え、行動し、他人の苦悩を共有でき、謙虚で寛容な心を持ち、感謝の気持ちを忘れない女子学生を育成することを教育目標とする。「仏教精神に基づくこころの教育」と「有為なる女性を育成する実学教育」を心がけており、思いやりの心で教職員と学生が接し、学生一人ひとりの個性、状況に合った、きめの細かい、親切的な教育を施し、入学以前から卒業後までも途切れることなく学生を支援している。

2. 本取組の概要

本学では、就職満足度100%を目指した各種支援を行っている。就職支援の主担当である学生キャリア支援センターには専門職員が常駐し、就職相談に対応している。支援内容は一般的な用語質問から精神的支援、個別の面談指導等本学特有の就職指導まで多岐に渡っており、支援を受ける学生の満足度は高い。その中で、就職活動時期を迎えた学生には進路登録カードの提出を促し、それに基づき希望にそった就職支援を行って

いる。提出率は就職活動開始時点で65%(2009(平成21))であり、やや低いことが課題の一つとなっている。そこで本取組では、さらなる提出率の向上を目指した。

本取組では「進路が考えられない」「就職相談するための基礎力が不足している」ことで進路登録カードの提出ができない学生に対して、学生個人を大切にしたいきめ細かな助言体制を整備するためにキャリアメンターを配置し、就職活動に必要な基礎能力(就活基礎力)の養成を行うこととした。就職支援体制を強化することで、より多くの学生が進路に対する意思の明確化ができるようになり、同センターへの進路登録が増え、相談件数が増加(目標20%)することにより、結果的に就職好調期の就職率90%(2008(平成20)は83%)を達成することを目標としている。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 本取組の趣旨

本取組では、就職活動を行うための基礎能力(世の中の職業を理解する、進路を決める、目標に向かって今すべきことを考えるなど)が不足している学生に、その力を養成することで、具体的な就職に関する相談を増やし、就職支援を推進する。

(2) 目的

基礎能力が不足している学生は、学びに対する意欲も低く、教職員側から積極的な働きかけをする必要があり、就職支援を推進するために、キャリアメンターを配置する。現在、学生キャリア支援センター内に専任職員が常駐し就職相談に対応している。相談は一般的な用語説明をはじめ多岐に渡っているが、就職相談に訪れない学生も多いため、就職支援の初期段階をキャリアメンターが担当し、就職活動に必要な基礎能力(就活基礎力)を養成することで、就職支援体制の強化を図る。

(3) 達成目標

達成目標としては、希望進路を明確にできたことの

事例46◆ 京都光華女子大学

表れとして、進路登録カードの提出を増やし、就職相談件数を増やすこと(2009(平成21)年度実績の20%増)を目標とする。これにより就職好調期の就職率90%(2008(平成20)年度は83%)に回復させることを目指す。そのために就職支援体制を強化し、進路未登録あるいは就職相談に来ない学生に対して、能力・意欲・職業理解・進路希望の明確化等を調査し、就職準備ができていない学生に対してはキャリアメンターが就活基礎力の養成を支援する。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 具体的な内容

学生キャリア支援センターでは就職活動時期を迎えた学生に進路登録カードの提出を促し、希望にそった就職支援を行っている。しかしその提出率は、就職活動開始時点(3年生の10月)では65%(2009(平成21))と低調である。「進路が具体的に考えられない」「就職相談をする基礎力が不足している」ことにより進路登録カードの提出ができない、あるいは提出時期が遅れる学生が多数存在する。一方、できるだけ早期に進路登録カードを提出させ、早い段階から就職相談を繰り返すことで、学生個々の希望に合わせた就職先の紹介が可能になる。

そこで、進路登録カードを提出しない(就職活動ができない)学生に対して、就職活動を開始できる状態にするために「キャリア相談室」を設置し、キャリアメンターを常駐させた。キャリアメンターは、適性や希望を十分にヒアリングし、学生個人を大切にしたいきめ細かな助言を行い、より多くの学生が進路に対する意思の明確化ができるように相談業務に当たっている。これらを通して、集合学習が必要と思われる基礎知識については講座を企画し、eラーニング教材の活用を促進している。また、講座や相談業務で利用した手法や成果物は、学生が独自で活用できるよう共通ツール化を検討している。

さらに、ゼミ担当者と連携し、就職活動に関する教員研修を実施し、ゼミ活動を通して就職活動の基礎知識の育成指導から活動中の精神面の支援までを行うことで、就職活動に必要な基礎能力を養成している。

(2) 実施体制

学長の指揮の基、取組担当者を代表とするキャリア相談室が取組の全体管理を行っている。キャリア相談室を中心として、全学科と関係部局(学生キャリア支

援センター等)が連携して推進する。そのため、全学科及び関連部署の代表で構成する「就職支援連絡会」を設置する。隔月で連絡会を開催し、担当事項の伝達・確認、状況報告・共有を行い、取組の円滑な推進を図る。合わせて取組のPDCAを徹底している。

実施体制は、図1に示すとおりである。目的達成のため、次の組織を設置・編成した。

(i) キャリア相談室

本取組担当者をはじめとしたキャリア教育担当者とキャリアメンターで構成し、以下の役割を担う。

- ・本取組の組織及び実施についての総括
- ・取組全体についての実務

(ii) 就職支援連絡会

キャリア相談室の所員、各担当学科・関連部署等の代表で構成し、以下の役割を担う。

- ・取組実施に当たっての各担当学科・部署間の調整
- ・取組結果の点検・評価

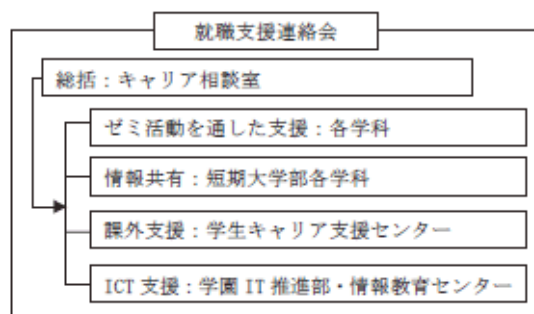


図1 実施体制

(3) 具体的な成果

本取組を実施することで目指す具体的な成果は以下のとおりである。

- 本取組の実施体制を整えることにより、取組全体が目的とする就職支援体制の強化が可能となり、「就職支援連絡会」を通して、各学科・関連部署等で学生の就職活動状況の共有を図ることができる。これにより、全学での就職支援に対する取組を大きく前進させることができる。
- 学外のキャリアメンターを登用することで、従来本学と付き合いのない企業や団体の情報が新たな刺激となり、今後の就職活動の場を広げることが期待できる。
- オリエンテーション等で学生に「キャリア相談室」を紹介することで、就職活動に対する学生の意識を活性化し、今後の就職活動への取組意識が高まる。
- 「キャリア相談室」を継続することにより、「進路

を具体的に考えられない」あるいは「就職相談する基礎力が不足している」学生の相談場所ができ、進路の明確化に関する個別支援を行うことができる。その結果、就職に対する学生の意識の水準を高める支援を実現できる。

- (v) キャリアメンターが学生に個別アプローチし、ゼミ担当者と連携して就職活動に必要な基礎力養成を行うことで、学生個人を大切にした指導を実現でき、指導内容を学生面談システムに登録し、指導内容について教職員が相互参照することで支援効果が高められる。効果の高い事例については、支援内容の蓄積データを分析し、今後の就職活動支援の方法確立に役立てることができる。
- (vi) 就職ガイダンスに参加しない学生に個別参加を促し、大学全体の就職活動を活性化することで、取組が目指す就職活動に必要な基礎能力の養成と相談件数の向上を支援する。
- (vii) 就職活動に必要な基礎知識を学習するための講座やeラーニング教材を活用することで、就職活動支援を効果的に進め、その支援効果を高めることができる。
- (viii) 就職適性検査で就職活動に対する心構えや準備度を客観的に評価することで、フォローが必要な学生を早期に把握することができる。
- (ix) 本学卒業生の就職先や就職希望先の情報収集・調査を行うことで、企業が求める人材を分析し、学生指導に役立てることができる。
- (x) 隔月に就職支援連絡会を開催することで就職活動の現状を学内で共有し、社会が求める就職力に対応し、取組の成果について、評価を定期的に丹念に行うことにより、取組の効果的な実施へ向けてのPDCを徹底し、その効果を上げることが期待できる。
- (xi) 実施結果とその評価を報告書にまとめることにより、2011(平成23)年度以降の支援法を確立できる。合わせて、他学との情報交換の参考とすることができる。

5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 評価体制

評価は「就職支援連絡会」にて実施する。定期的(隔月程度)に評価点検と改善検討を行い、要改善点を明確にし、取組の円滑な推進と目標達成に必要なPDCAを確立する。

年3回の子で外部の有識者を招き勉強会を行う。

事例紹介やアドバイスを参考に、客観的な意見を本学の取組に反映させる。最終評価では、外部の有識者を交え、今後の継続的な活動につなげていく評価が可能な体制とし、本取組後の適切・効果的な就職支援策を検討する。

「就職支援連絡会」では、以下の報告を行い、評価・改善を検討する。

- (i) 各学科・関連部署報告と評価・改善
 - ・各学科・関連部署で実施している支援内容と実績
- (ii) 学生キャリア支援センター報告と評価・改善
 - ・進路登録カード提出状況
 - ・学科別就職活動状況
 - ・求人状況・企業訪問状況
 - ・個別相談実績(学生面談システムへの登録状況)
- (iii) キャリアメンター報告と評価・改善
 - ・ゼミ活動を通じた支援の実績と学生アンケート
 - ・キャリア相談室での相談実績(学生面談システムへの登録状況)
 - ・セミナーの企画(実施予定)と実績

(2) 評価方法

個々の学生の就職活動状況については、日々の相談内容を学生面談システムに登録し、教職員間で情報共有を行い、学生状況を把握することで、支援効果を高めている。相談件数の増加については、その面談データを年度末に集計する。また、就職率についても、年度末に実績値を集計し評価する。

個々学生の就活基礎力の養成効果については、2007(平成19)年度から毎年3年生に実施している「就職適性検査」の診断結果を活用する。2008(平成20)年度からの就職適性検査では、就職活動へのレディネス(図2)がA～Eの5段階評価で表示されている。過去2年間の診断結果と比較し、そのランク別割合で、ランクの低い学生の割合が減少しているかどうかで評価する。

2008(平成20)年度の総合ランクでは、E9%・D28%、2009(平成21)年度はE10%・D20%であった。



図2 就職活動へのレディネス サンプル

(3) 診断後の支援計画

事例46◆ 京都光華女子大学

就職適性検査は、例年3年生の12月上旬に実施している。しかし2010(平成22)年度は10月に実施を予定し、診断結果で就職活動へのレディネスが低い学生を対象に個別支援を強化し、実際の就職活動までに就活基礎力養成のための支援を検討する計画である。

6. 本取組の実施計画等

本取組は、2010(平成22)年2月から1年2ヶ月の計画で進めている。2月と3月は、3年生へのキャリア相談と就職先の決まっていなかった4年生に対して個別就職支援を実施した。同時に、2010(平成22)年度の実施に向けての必要な整備等を行った。「キャリア相談室」を開設し、キャリアメンターを常駐させる。キャリアメンターは、大学3年生の就職活動の方法がわからない学生や、準備不足の学生に対して個別支援を実施する。また、まだ就職先が決まっていなかった4年生についても、学生キャリア支援センターと連携して個別支援(学生キャリア支援センターを訪問したことがない学生への支援)を実施することで、2009(平成21)年度の更なる就職率向上を目指す。卒業までに就職先が決まらなかった学生に対しては、4月以降の活動方法の一つとして、ジョブカフェやハローワーク等の具体的な活用方法を指導することとした。

2010(平成22)年度はプログラム全体を実施し、就職好調期の就職率に近づかせる。また、最終的な総合評価を行い、就職活動に必要な基礎力養成の方法を確立する。これにより、2011(平成23)年度以降(本取組終了後)の効果的な就職支援の確立を目指す。本取組で利用した手法や成果物を共通ツール化して、期間終了後に学生が独自に活用できる形に整備する。

2010(平成22)年度の実施計画は以下である。

- (1) 4月：実施内容・方法・体制について、学長の指揮のもと、取組担当者を代表とするキャリア相談室が取組の全体管理を行うことを確認する。
- (2) 4月：就職活動の方法がわからない準備不足の3、4年生に対して、就職活動に必要な基礎力養成を実施するために、キャリアメンターを配置する。従来本学と付き合いのない企業や団体、外部情報で刺激する効果を目的に、キャリアメンターは企業や団体、他大学の情報を有する就職支援関連業務の経験者に依頼する。
- (3) 4月：「キャリア相談室」の機能について利用者(学生)へ説明・周知する。キャリア相談室は、学生キャリア支援センターに行くきっかけを与える

ために、ゼミ担当者と連携して、ゼミ等に出向いて就職活動に関する説明を行う。

- (4) 4月～3月：キャリアメンターと学生の相談場所、ゼミ担当者からの連絡場所として「キャリア相談室」を継続開設する。
- (5) 4月～3月：キャリアメンターから個別に働きかけを行う。キャリアメンターの指導内容については、すでに運用を開始している学生面談システム(図3)に随時登録し、その情報を同センターやゼミ担当者の支援に活用する。支援する上で必要となった機能について学生面談システムの強化・改造を行う。



図3 学生面談システム

- (6) 6月～1月：進路の明確化ができず、登録カードの作成ができない学生に対して、作成支援を行うことで、就職活動に必要な基礎力養成を行う。
- (7) 6月～2月：就職活動に必要な基礎知識を学習するための講座やeラーニング教材を紹介・周知し活用を促進する。
- (8) 10月～11月：就職活動に必要な基礎力の診断(就職適性検査)を実施する。また、検査結果を就職活動に有効活用するためにフォローガイダンスを行う。
- (9) 4月～3月：本学卒業生の就職先や学生が希望する就職先の情報収集・調査を行い、就職力育成について検討する。
- (10) 4月～3月：隔月で就職支援連絡会を開催する。進路登録カードの提出率や就職相談状況を共有し、随時、本取組の実施内容について評価を行い、実施内容にフィードバックさせる。その評価と改善へのフィードバック内容はその都度、「キャリア相談室」へ集約し、取組全体のPDCへ反映させ、本プログラム終了後の継続的な取組へ反映させる。
- (11) 2月～3月：本事業の成果の最終報告として、実施結果とその評価を報告書にまとめる。

これらを通じて、取組を充実・強化させ、本学の教育目標である「一人ひとりの輝ける未来のために」を実現するための人材育成機能の強化を図っていきたい。

資料3 学生／就職支援推進プログラム意見交換会

平成22年度
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」
「大学教育・学生支援推進事業」学生／就職支援推進プログラム
意見交換会

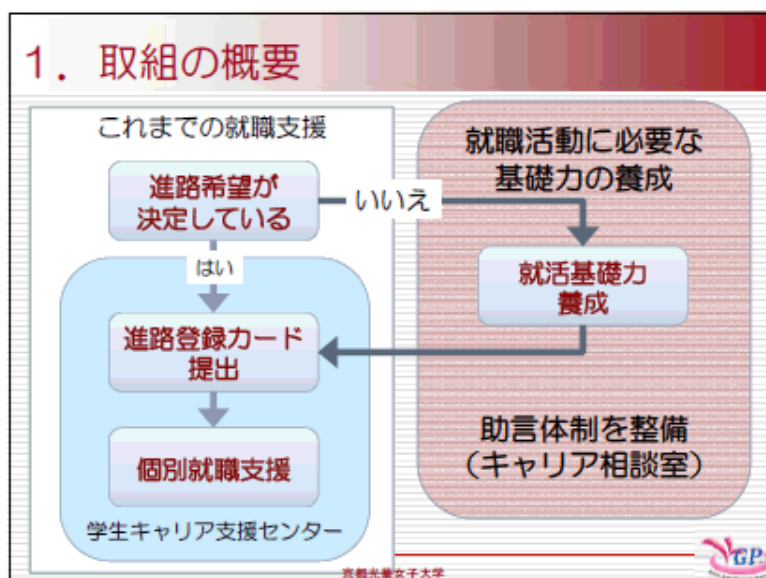
2010年12月10日

平成22年度
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」
「大学教育・学生支援推進事業」学生／就職支援推進プログラム
意見交換会

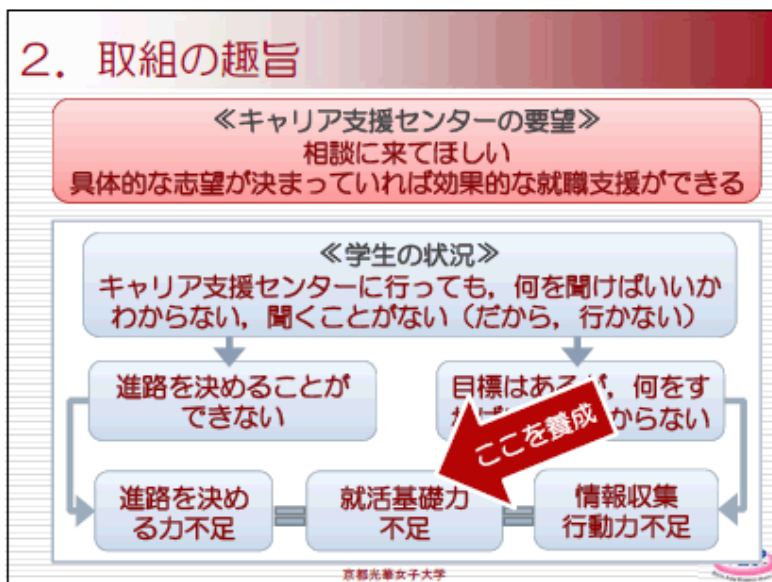
学生個人を大切にした
キャリアメンターによる就活基礎力養成
事例紹介

京都光華女子大学
キャリア教育推進センター
吉田 咲子
2010年12月10日(金)

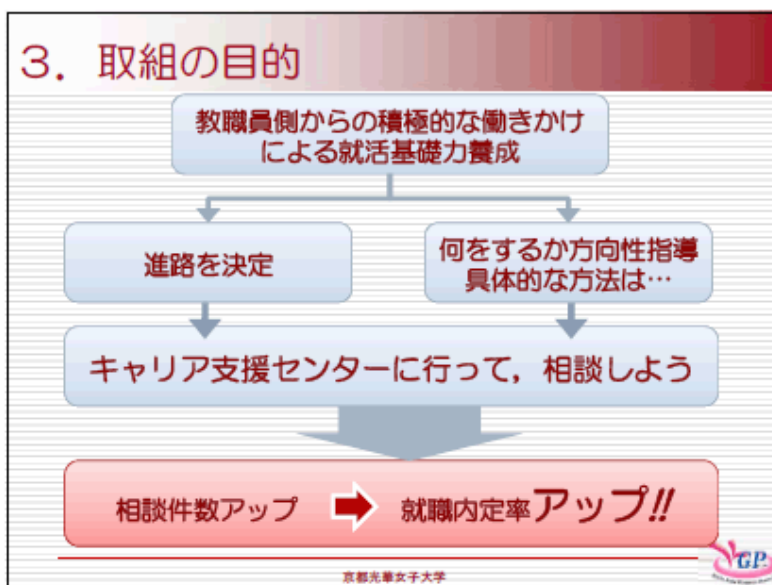
京都光華女子大学

2. 取組の趣旨



3. 取組の目的



4. 達成目標

達成目標

進路登録カード
提出率増加

2009年度（65%）
の20%アップ

キャリア支援セン
ターの相談件数増加

2008年度（1710件）
の20%アップ

就職率を
好調期に回復

就職率
83%→90%

京都光華女子大学



5. 実施体制

就職支援連絡会

総括：キャリア相談室

ゼミ活動を通じた支援：各学科

情報共有：短期大学部各学科

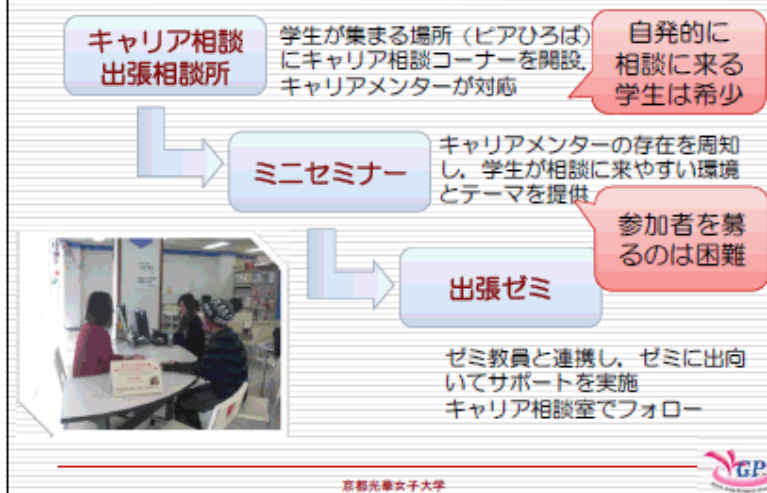
就職支援：学生キャリア支援センター

ICT支援：学園IT推進部・情報教育センター

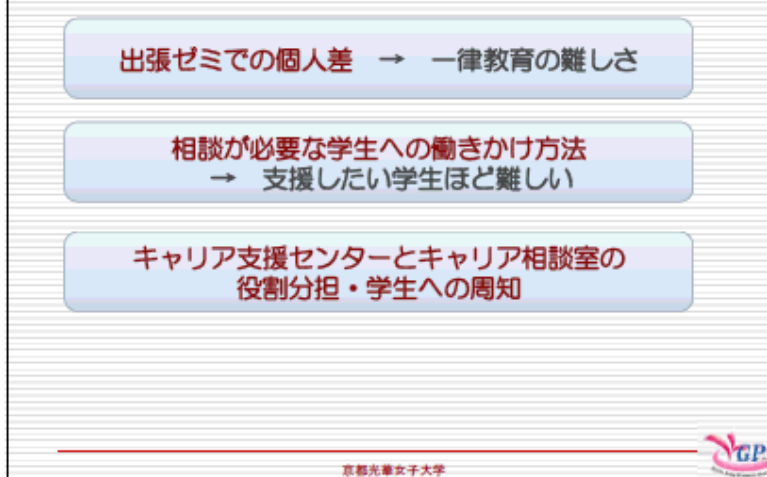
京都光華女子大学



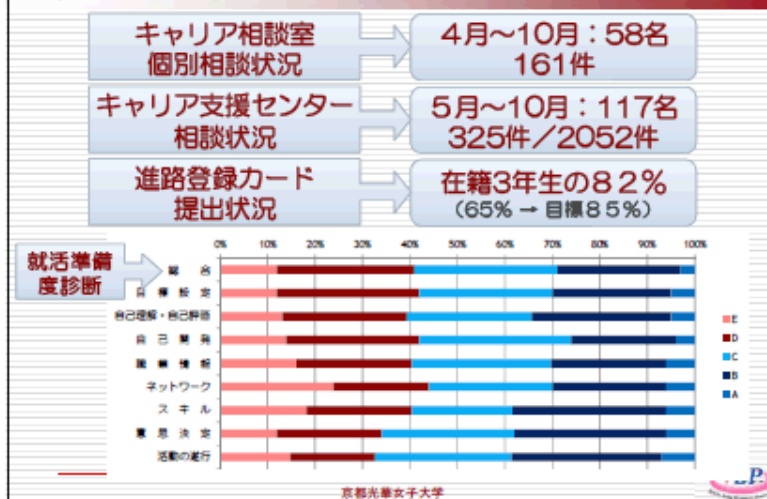
6. 留意・工夫した点・苦慮した点



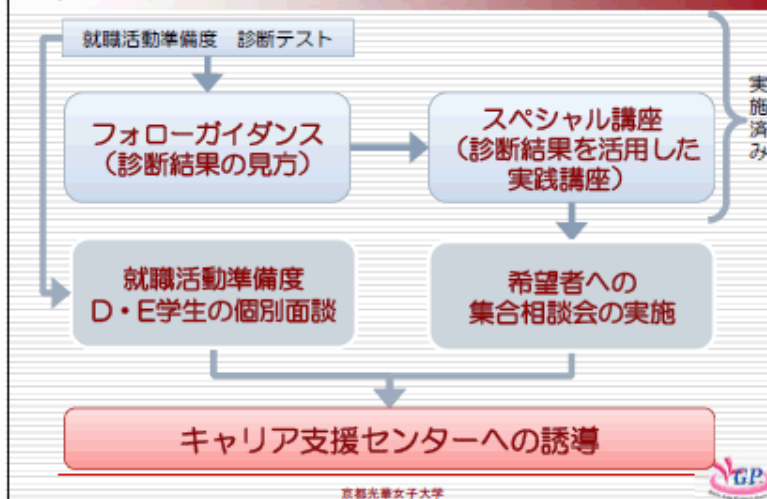
7. 進行過程における課題



8. 実績（10月末現在）



9. 今後の実施計画



京都光華のキャリア教育が育む3つの心

こ うじょうしん（向上心）

早期から目標を立てて充実した大学生活を過ごすことは、自分の可能性を広げます。自らがたてた目標に向かい努力し、それを達成することを繰り返すことで**向上心**を育み、卒業後の自立学習の力が身につきます。

う るおいのこころ（潤いの心）

誠実な態度と明るい表情は人間関係にうるおいをもたらします。自分の言動に自信を持つことは、社会にでる自信となり、社会での活躍の場を広げます。また、自信の裏付けとして資格取得を応援します。成功体験を積み重ねることで自信が定着し、心にゆとりが生まれ、**うるおいの心**（思いやりの心）が育まれます。

か んしゃのこころ（感謝の心）

社会生活は周囲の人と助け合うことで成り立っています。社会で活躍するには、相手の協力を感謝し、それを態度や言葉で表現する力が必要です。講座やグループ研修を通して、**感謝の心**とそれを表現する力が身につきます。

キャリア相談コーナーでは、将来につながる目標設定や人間関係にうるおいをもたらすコミュニケーション力を身につけるお手伝いをします。

資格コーナーでは、自信につながる身近で役立つ資格取得に向けてお手伝いをします。

キャリア相談コーナー

専門のキャリアアドバイザーが、目標を明確にするお手伝いや、社会に必要なコミュニケーション力とマナーについて指導します。光華 navi の[学生サポート]から面談予約やミニセミナーの予約ができます。

資格コーナー

専門の担当者が皆さんの資格取得をサポートします。年次に合わせて目標を計画し実行することで、自分の成長を実感しながら資格を取得することができます。まずは気軽に、情報収集に来てください。

PC 自習コーナー

自由に利用できるパソコンで調べ物をしたり、資格試験の勉強をしたりするコーナーです。キャリア形成や資格に関する書籍・雑誌が揃っていますので、講義の合間に気軽に立ち寄ってください。



京都光華女子大学における キャリア教育・キャリア形成支援

「自信と希望を持って社会にでていくことのできる人材の育成」を目指して

キャリアセンター

キャリア教育推進室

社会に出ていくために必要な意識や社会人として求められる基本的な能力である「社会人基礎力」を養成します。

正課・正課外講座の提供

キャリア形成相談・指導

資格コーナー

資格取得の指導・促進

就職支援室

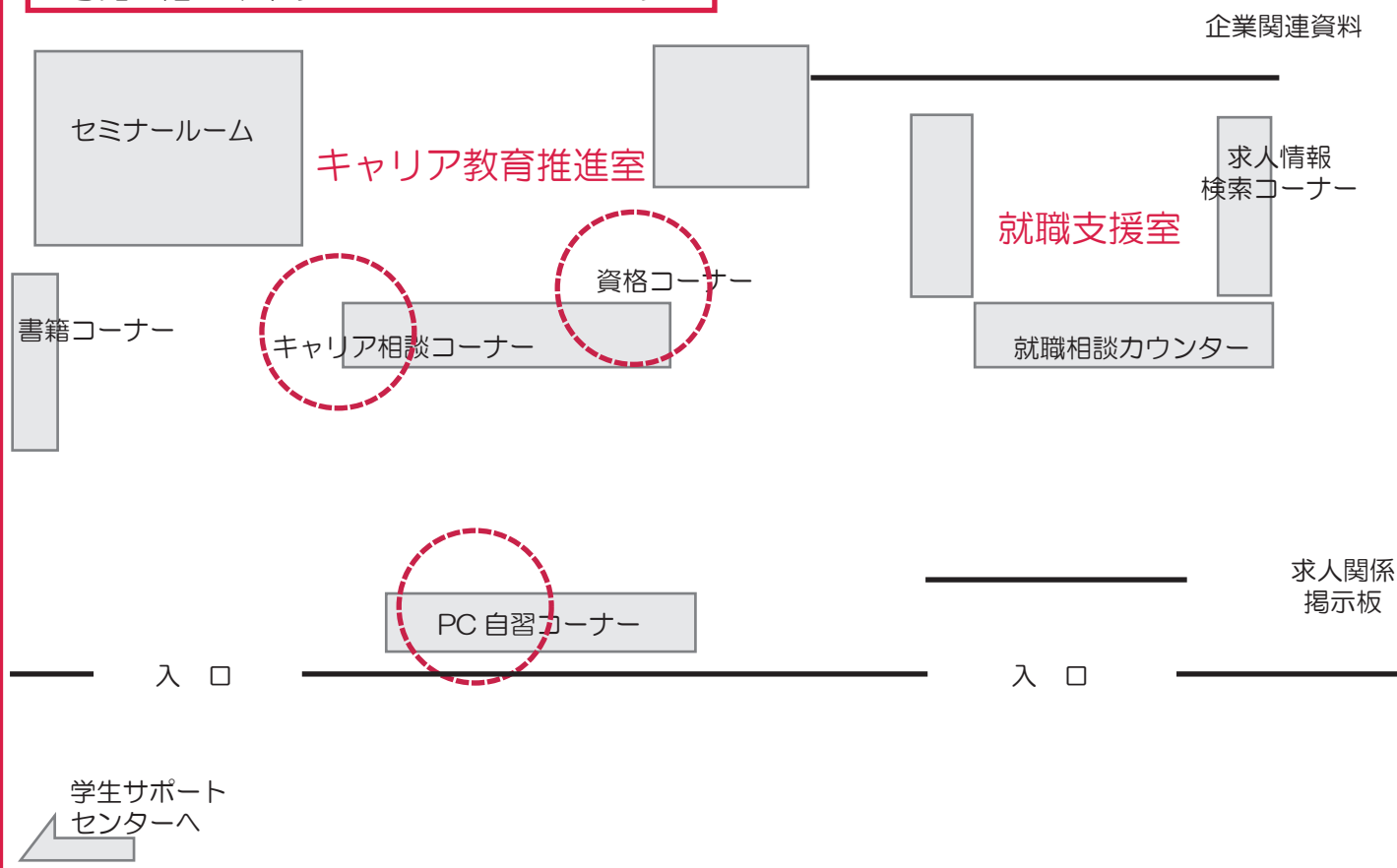
広範な求人情報を提供するとともに、学生一人ひとりの希望と適性に応じて、就職活動を全力で支援します。

就職ガイダンス

個別就業支援

求人情報提供

1号館1階 キャリアセンター フロアマップ



キャリアアドバイザーによるキャリア相談（週3日）
日時は**光華 navi**の面談予約で確認・予約してください
MAIL: careerad@mail.koka.ac.jp

資格コーナーでの資格取得サポート
月曜日～金曜日 9:00～17:00
MAIL: shikaku@mail.koka.ac.jp TEL: 075-325-1310



大学4年間を通じたキャリア教育・キャリア形成支援

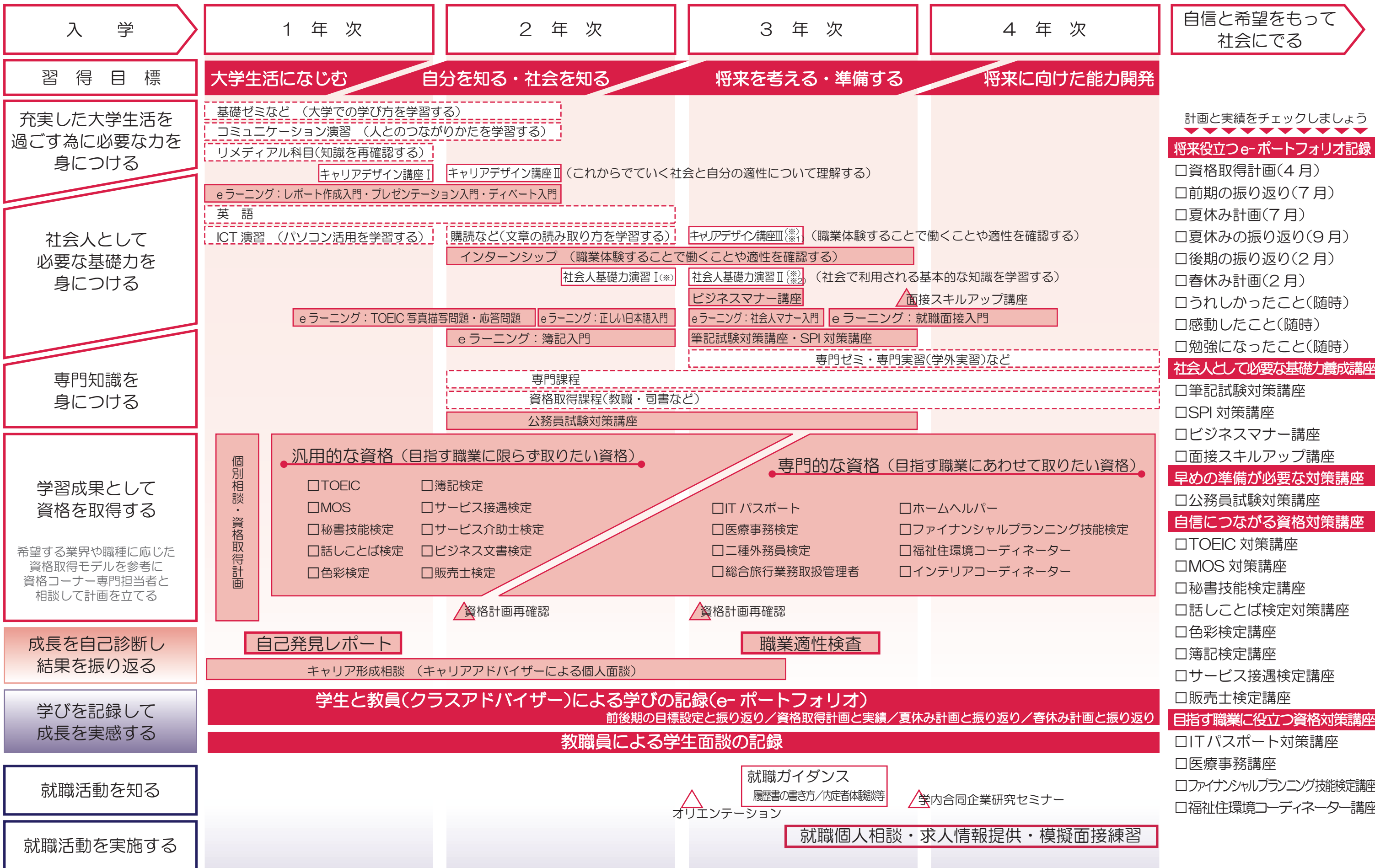
「計画→実行→成果の確認→振り返り」を繰り返し自分の成長を実感しながら、卒業後の将来につながる力を身につけていきましょう。

正 課
正課外
(点線)各学科が提供
(実線)キャリアセンターが提供

キャリア教育・キャリア形成支援

連携

就職支援



計画と実績をチェックしましょう

将来役立つe-ポートフォリオ記録

- 資格取得計画(4月)
- 前期の振り返り(7月)
- 夏休み計画(7月)
- 夏休みの振り返り(9月)
- 後期の振り返り(2月)
- 春休み計画(2月)
- うれしかったこと(随時)
- 感動したこと(随時)
- 勉強になったこと(随時)

社会人として必要な基礎力養成講座

- 筆記試験対策講座
- SPI 対策講座
- ビジネスマナー講座
- 面接スキルアップ講座

早めの準備が必要な対策講座

- 公務員試験対策講座

自信につながる資格対策講座

- TOEIC 対策講座
- MOS 対策講座
- 秘書技能検定講座
- 話しことば検定対策講座
- 色彩検定講座
- 簿記検定講座
- サービス接客検定講座
- 販売士検定講座

目指す職業に役立つ資格対策講座

- ITパスポート対策講座
- 医療事務講座
- ファイナンシャルプランニング技能検定講座
- 福祉住環境コーディネーター講座

京都光華のキャリア教育が育む3つの心

こ うじょうしん（向上心）

早期から目標を立てて充実した大学生活を過ごすことは、自分の可能性を広げます。自らがたてた目標に向かい努力し、それを達成することを繰り返すことで**向上心**を育み、卒業後の自立学習の力が身につきます。

う るおいのこころ（潤いの心）

誠実な態度と明るい表情は人間関係にうるおいをもたらします。自分の言動に自信を持つことは、社会にできる自信となり、社会での活躍の場を広げます。また、自信の裏付けとして資格取得を応援します。成功体験を積み重ねることで自信が定着し、心にゆとりが生まれ、**うるおいの心**（思いやりの心）が育まれます。

か んしゃのこころ（感謝の心）

社会生活は周囲の人と助け合うことで成り立っています。社会で活躍するには、相手の協力に感謝し、それを態度や言葉で表現する力が必要です。講座やグループ研修を通して、**感謝の心**とそれを表現する力が身につきます。

キャリア相談コーナーでは、将来につながる目標設定や人間関係にうるおいをもたらすコミュニケーション力を身につけるお手伝いをします。

資格コーナーでは、自信につながる身近で役立つ資格取得に向けてお手伝いをします。

キャリア相談コーナー

専門のキャリアアドバイザーが、目標を明確にするお手伝いや、社会に必要なコミュニケーション力とマナーについて指導します。光華 navi の[学生サポート]から面談予約やミニセミナーの予約ができます。

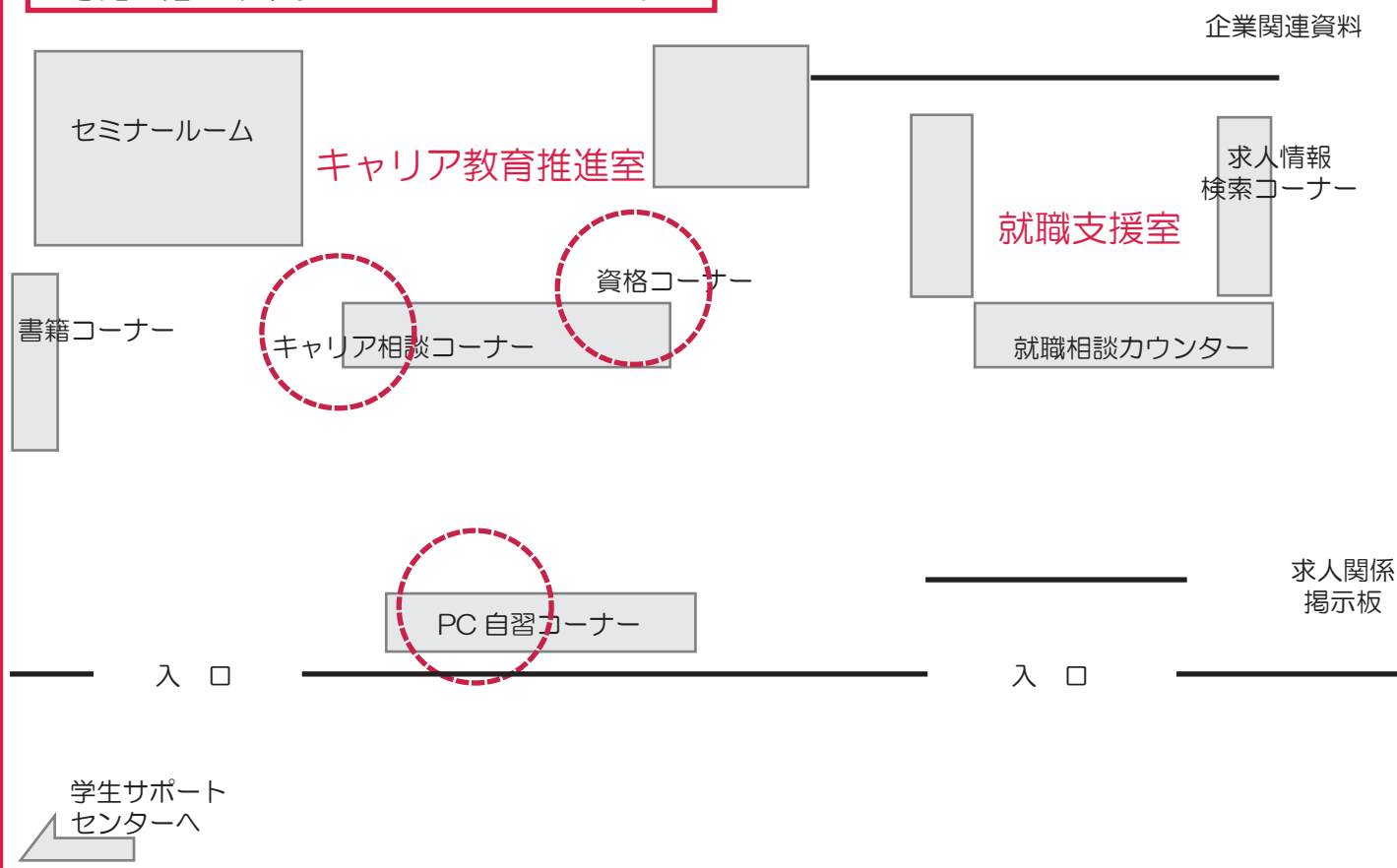
資格コーナー

専門の担当者が皆さんの資格取得をサポートします。年次に合わせて目標を計画し実行することで、自分の成長を実感しながら資格を取得することができます。まずは気軽に、情報収集に来てください。

PC 自習コーナー

自由に利用できるパソコンで調べ物をしたり、資格試験の勉強をしたりするコーナーです。キャリア形成や資格に関する書籍・雑誌が揃っていますので、講義の合間に気軽に立ち寄ってください。

1号館1階 キャリアセンター フロアマップ



キャリアアドバイザーによるキャリア相談（週3日）
 日時は**光華 navi**の面談予約で確認・予約してください
 MAIL: careerad@mail.koka.ac.jp

資格コーナーでの資格取得サポート
 月曜日～金曜日 9:00～17:00
 MAIL: shikaku@mail.koka.ac.jp TEL: 075-325-1310

2011.04.18版



京都光華女子大学短期大学部における キャリア教育・キャリア形成支援

「自信と希望を持って社会にでていくことのできる人材の育成」を目指して

キャリアセンター

キャリア教育推進室

社会に出ていくために必要な意識や社会人として求められる基本的な能力である「社会人基礎力」を養成します。

正課・正課外講座の提供

キャリア形成相談・指導

資格コーナー

資格取得の指導・促進

就職支援室

広範な求人情報を提供するとともに、学生一人ひとりの希望と適性に応じて、就職活動を全力で支援します。

就職ガイダンス

個別就業支援

求人情報提供



KYOTO KOKA WOMEN'S UNIVERSITY
 京都光華女子大学・短期大学部
 キャリアセンター キャリア教育推進室
 電話: 075-325-5315
 MAIL: careered@mail.koka.ac.jp

短期大学部2年間を通じたキャリア教育・キャリア形成支援

「計画→実行→成果の確認→振り返り」を繰り返し自分の成長を実感しながら、卒業後の将来につながる力を身につけていきましょう。

正 課

正課外

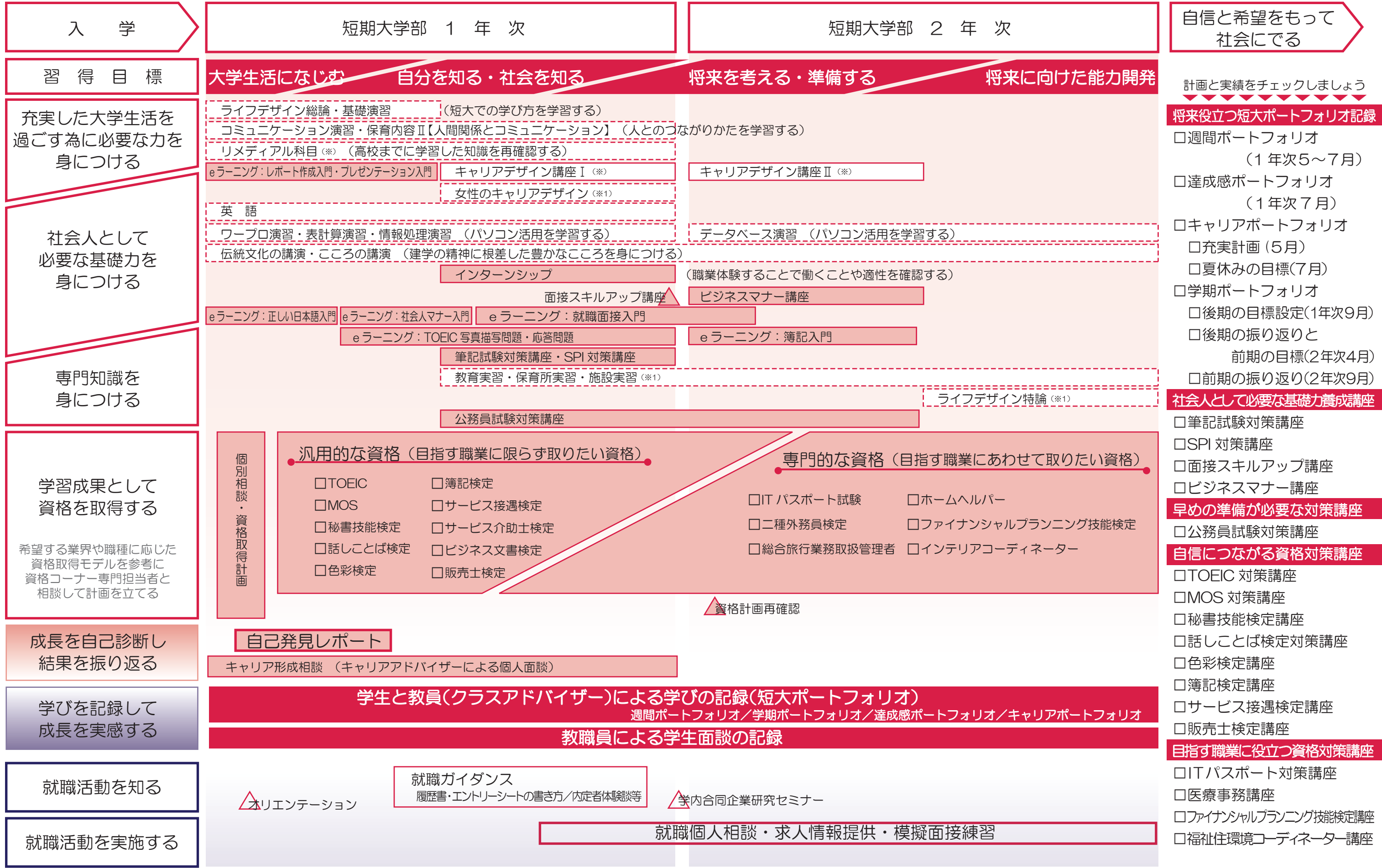
(点線)各学科が提供

(実線)キャリアセンターが提供

キャリア教育・キャリア形成支援

連携

就職支援



(※) 学科により聴講となります(その場合, 単位は認定されません) (※1) 学科限定科目です

あとがき

2007年夏、本学のキャリア教育（学生個人を大切にしたいキャリア教育の推進）が平成19年度現代GPの選定を受けた。その柱は第1に、学生の就労意識を高めるところに置いた。そのために様々なプログラムを用意したが、もっとも重視したのは、そのタイトルにもあるように、個別対応教育と個別指導である。これは、ちょうどそのとき全学的な学生支援の取組として開始していた、“エンロールメント・マネジメント”の基本政策である。その結果、2年半の取組により、本学のキャリア教育を定着させることができた。現在、その成果を基礎に、本学に適したキャリア教育を実施しているところである。

この取組を計画し始めた当初、学生の就職環境は比較的好調であった。取組の当初の目標は、就職そのものよりも「良い就職」にあった。就職しても早期に退職・転職するという「離職」の問題を課題とした。しかし2007年秋から、状況は大きく変わり始め、翌年秋にはリーマンショックが起これ、就職環境の悪化は決定的となった。そのため、取組の目標は、いかに学生の就職を確保するかという点に移っていった。ただ、当面の目標は変わっても、キャリア教育としてすべきことは変わらないと考えている。学生が高い就労意識を持つことが就職の獲得につながり、働くことを自己実現の対象として力強く生きていくことができると考えている。

そのとき、政府の雇用政策の一環として、ここで報告した「就職支援推進プログラム」の募集があった。本学では、キャリア教育をさらに深化させ、悪化する就職環境に対応したキャリア支援の体制を整えるため、このプログラムに応募した。その中で行ってきたことは、本報告書で述べたとおりである。これにより、キャリア教育と就職支援からなる総合的なキャリア支援の体制を整えることができた。それとともに、これからあるべきキャリア支援、そしてキャリア教育について実践的に研究する体制が整った。その成果は順次、発表していく予定である。

最後に、この間の取組は学内外の多数の方々の協力により進められたものであることを報告しておきたい。先行事例として見学・ヒアリングさせて頂いた大学の関係各位、本学の取組について評価いただいた外部評価員の先生方、勉強会の講師をお引き受けいただいた方々、そして本取組に中心的に参加の本学教職員に対し、ここに記して謝意を表します。

副学長・キャリア形成学部 教授
キャリア教育推進センター長
山本 嘉一郎

平成 21 年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラム選定
学生個人を大切にしたキャリアメンターによる就活基礎力養成
実施報告書

発行日	平成 23 年 3 月 31 日
編集発行	京都光華女子大学 キャリア教育推進センター 〒615-0882 京都府京都市右京区西京極葛野町 38 TEL 075-325-5315
事業推進代表者	一 郷 正 道
事業推進責任者	山 本 嘉 一 郎
